

# 幼兒の教育

家庭・保育所・幼稚園

第五十三卷 第七號



日本幼稚園協会

7

☆独特の天然色人形絵本☆

## トツパンの絵本

## ストーリーブック

第一回 産経児童  
出版文化賞 受賞

審査員推薦のことば

トツパンの絵本は企画の良心的なこと、出来上りの美しいことをもつて有名です。今度受賞した「ヘンゼルとグレーテル」他数編の人形劇絵本はなかでも特に立派で、今の日本ではこれ以上のぞめないかもしれません……。

○ヘンゼルとグレーテル

○しらゆきひめ

○アラジンと

ふしきなランブ

○ロビンフッドの冒險

価各一五〇円

発売！ 新保育用品  
指で描く幼児の粉絵具  
**まんてんこなえのぐ**



### 新案特許優良玩具

## サーカスクリン

- 多角的なおもしろい楽しいあそび方が出来ます。
- 変形あそび・輪投げあそび・乗りあそび・工作あそび
- 輪まわしあそび・固体あそび等
- 定価 大型二、四〇〇円・小型一、四〇〇円
- ※御用命は貴園最寄りの弊社代理店又は本社に直接お申しつけ願います。

☆紙・木・粘土・金属・セルロイド等にでも塗れます。  
☆衣類に着いても簡単に汚れを  
おとせます。  
☆毒性はありません。  
☆水で簡単にとけます。  
☆色彩が非常に鮮明です。  
☆重色も混色も自由です。  
☆容器の中で固ることはあります。  
☆カタログ贈呈致します。

東京日本橋茅場町一の二〇 トツパン

振替東京四一六四七

発売所

株式会社 フレーべル館  
東京都千代田区神田小川町二ノ五

# 幼児の教育 目次 第五十三卷第七号

表紙 猪熊弦一郎

子供と自然 堀藏 6

幼児と夏の戸外観察 堀合文子 10

戸外生活の指導 堀合文子 10

座談会 東京の家庭 七藏 2

保育学会の幼児発達調査から浮びあがる問題 12

夏の山村地方の保育 岩崎香 21

夏の海岸地方の保育 湯原香代子 24

△児童と公園 △ 中山香 26

☆夏の戸外遊び☆ 平井信義 30

教育白書にあらわれた幼稚園の現状(1) 玉越三朗 34

飢えの慾望と精神衛生(1) 加藤常吉 38

こ  
の  
子  
供  
た  
ち  
(11)  
松原至大訳 45

編集幹委員	主幹	三友雄	み川及多野	藤下俊郎
協力委員	橋島田	義鐵	波多野	文斎山
	倉牛多	三友雄	ふみ川及多野	(五十音順)

發行 日本幼稚園協会

# 子供と自然

牛 島 義 友



幼児は自然の子であり、自然こそ幼児にとつて最も望ましい環境であり、夏のように海に山に大自然に接する機会の多い季節こそ子供に適した時期であるかのようにいわれる。しかし人間の幼児は果して自然の子であろうか。考えようによると人間の幼児たちは最も非自然的な生活をしているともいえよう。即ち人の子は生まれてくるといきなり大自然の中にぼうり出されるのではなくて、母親の懷に家庭の中で完全に保護された生活をしている。暑さ、寒さその他他の自然の変化から完全に保護され、又様々な危険な刺戟から隔離されて生活しているのがむしろ人間の子供の生活の姿である。

もし人間の子供が生まれるとすぐに自然の中にぼうりこまれたらどんなことになるであろうか。先年印度の山奥からつれてこられた狼子即ち狼の乳を吸つて育つたというカマラという少年のことが話題になつた。この子供はもう八才程の年令になつてゐるのであるけれど、立つて歩くことが出来ず四つ這いつになつていつも歩いていた。そのためには非常に長く、肩は張つて、その四つ足で歩く速さは到底走つて追いかけても追いつかないほどの速さをもつていたといわれる。この子供は人間の言葉を理解することも、言うこともはじめは出来なかつたし、夜などは狼のようになつて吠えをして人々を驚かした。このカマラがどうやら人間らしい行動を示すようになるのには非常に長い間の世話が必要であつた。数年間、親切な宣教師の夫人に育てられただれども、そのなくなつた時の精神年令はせいぜい三才位

にしか達していなかつた。これが人間がいきなり大自然の中にほうりこまれた時の姿かもしれない。もつともこの力マラが果して正常の知能の子供であつたかどうかは問題となる。カマラの事を詳しく記述しているゲゼル博士は、「彼は白痴ではなかつた」と言つてはいるが、この子供の行動や或いはその人間としての養護がなされてからの発育が非常に遅々である点から見ても、精神薄弱兒ではなかつたかとの疑いも多分に存する。しかしとに角人間の子供は、このような自然のまゝの生活をしていないところに、むしろ他の動物と違つた特色があるといえないだろうか。子供の理解する自然はその経験を通して理解する自然である。家庭の窓から眺める自然であり、金網を張られた中での自然の生活である。従つて子供の自然体験の特徴としてはまず安全性が考えられる。子供にとつては、自然は家庭の中と同じような完全な場所と考えられている。或いは家庭のように親しめる場所として、いわばエデンの園のような楽園的なものとして感じられてはいる。子供が、この安全な楽しい自然の中で生活するということは非常に美しいことはある。野や山に咲く草花、虫、鳥などと共にのたしく遊ぶ姿は本当に自然と一つになつた美しい風景でもある。しかし現実の自然は必ずしもそのように美しい安全な場所ばかりではない。そのためには、思わず自然の危険に触れ事故を起すというようなことも少くない。例えば子供達は猛獸を見ても必ずしも怖がらない。動物園のライオンの檻の傍に行き、つい手をさしのべて愛撫したくなるような親しみさえ感ずる。或いは街頭を疾駆する自動車、電車などにも何らの危険も感ぜずいきなり近づいたり、或いはそれに触れようとする事も屢々ある。このような事から起る交通事故も少くない。故に幼児の自然生活の場合に於いては、幼児は自然というものを完全に信頼しており、安心しきつているだけに、指導者はこの思わざる危険事故から防止する事を絶えず考えてやらねばならない。この意味でやはり金網を張りめぐらすことが必要にもなつてくる。動物たちの自然は生存の競争の場である。動物は自然物を食べられるものと、食べられないものとに分けてみると、とある学者はのべている。食べられるか、食べられないかによつて彼等は一つの世界像を描いてはいる。

彼等が自然の中で動きまわつてはいるのは単なる遊びごとではなく、絶えず何か食べられるものを探しながら、苦しい

生活の戦いを営んでいるのである。とんびがのんきそうに空を飛んでいるのは決してたのしい遊びではなく、絶えず何か食べられるものはそこらにないかとさがしまわつてゐるのである。数日間も餌にありつかないで空腹のまゝでさがしていることもあるかもしれない。またこのように餌を探している動物そのものが他の動物から目をつけられ餌として追い廻されているのである。たゞ餌を探すという呑気なものだけでなく、絶えずより強い外敵から身を守りつなお食物をさがす非常に息づまるような生存競争の場である。

子供たちは役に立つとか役に立たないとかに関係なしに遊びのために草を取り花を集めてくる。このように生活から超越して自然の中に遊ぶことが出来るのは人間の特権かもしれない。このことによつて人間は直接生きることから開放され、自然を楽しみ、或いは自然に手を加え、更に自然に対する不遜な征服的な態度になるおそれもある。又子供たちは全く無駄に自然をあらすことにも起しやすい。無暗に草花をちぎつてみたり、とんぼや鳥をやたらに殺生する傾向にもなりやすい。この自然を単なる無駄な遊びの場としないで、何か直接の生活から超越して人間の文化を作り出す場に導くことが大切な指導ともなろう。この自然に対しても正しく人間の力を加え、この不毛の土地からいろいろと有益な物を作り出すように働きかけること、この土地を耕すこと、それが文化の始りである。草花の種を植えたり大根を作る栽培を教えることは大切な自然教育である。次に幼児は自然を擬人化する傾向が強くなつてくる。猿や犬などの動物はもとよりのこと、自然界のあらゆるものを見事に人間的な目で眺める傾向がある。酷暑と嚴寒の交替する荒涼たる死の世界である月に対しても子供たちはたのしい鬼さんが餅をついている世界として眺める。この自然に対する擬人化的な見方は美しい詩の世界であり、子供にとっては大切な夢の世界である。しかし、この詩の世界美しい夢の世界は、同時に科学的な考え方の妨げとなる点も忘れてはならない。子供からすべての夢を取り去り、擬人化的な考えを捨てさすのは必ずしも正しくない。むしろ幼児期においてはその夢を通しての情操教育をなす事が大切である。けれども同時にまた自然を正しく観察し、正しく理解する道を教えることも忘れてはならない。然しこの科学的指導にも色々問題がある。自然を科学的に処理し加工し、自然を改造しようとする態度は、必ずしも望ましい科

学的な態度ではない。自然是人類に対して豊かな恩恵を与える、科学的な資源に富んではいるが、しかし、同時に又、自然是人類に対して厳しい怒りを放ち審判を与えるものである。特にアジアにおいてはこの自然の怒りは激しい。モンスーン的な風土においては自然の破壊力は人間の科学の力でも到底防ぎとめることの出来ないほどのはげしさをもつてゐる。従つて、アジアの人たちは、この自然の前に跪くことを教えられている。自然に即した生活は東洋人の精神の基調となつてゐる。これに對して科学主義的な西欧人に於いては、たゞ自然を征服し、人間の立場から自然を利用する態度のみを主張しようとする傾向がある。世の中を改造しようとする態度はとくに人間を不遜な態度に導いていく。自然の征服という驕慢な態度になつてゆく。かかる態度には勿論優れた点もあり、この態度によつて科学的な進歩も促進されてはいる。人間の力によつて原子の構造を改革し、原子爆弾すら作り出すことが出来た。しかし現在はこの人間の作り出した原子爆弾のゆえにゆきづまり、人類の文化の破壊に瀕しようとしているともいえる。この唯物的な自然に対するゆきづまりを解決するためには、人々は自然に對して感謝の態度で望む必要がある。たゞ自然を利用するのではなく、利用させていたゞける恵みにむしる感謝し、敬虔な態度で自然にのぞむ事が必要ではなかろうか。子供たちはとくに自然を遊びの物と見る傾向があるが、同時に又この自然の前に跪き、自然に感謝する氣持を与えることが大切である。すぐれた科学者たちは、その研究において、自然の神秘、自然の偉大さに跪くことも出来る。科學的な態度とこの宗教的な道徳的な態度とは決して矛盾するものではない。しかし、單純な科学的な態度、浅はかな知識においてはとくに自然を軽視し、征服しようとする態度になりやすいものである。子供に對してはこのつゝましい態度で眺め、自然の恩恵に感謝し、自然を感謝する道を教えることが必要である。まだきわめられていない部分が非常に多い事に驚き、人間の知識の限界を、知れば知るほど自然の優れた調和、比類のない美しさにたゞ頭が下るであろう。故に幼児に對しては花をむしり、草を折るのではなく、このような自然の神秘に少しでも近づけるように手引をしてやることが必要なことであらう。自然是單に観察の対象だけではなく、又人間の道徳的な宗教的な情操を培う大切な温床である。



# 幼児と夏の戸外観察

堀

七

藏

幼児は見る物につき、何でも「これはなあに？ あれなあに？」

という質問を連発する。ことに、幼児を戸外に引率したときには、凡ての物、ことごとく珍らしく、好奇の眼をもつて、その事物を観察してその観念を得ると共に、その名称をます、質問する。これに一々答えることは、自然科学者でも容易なことではない。それで、アメリカの自然研究の大家、コムストックは曾つて、次のようなことを言つてゐる。「私にはわからない。いつしよによく見ましよう」と素直に答える人でないと本当の自然研究の教師ではないと。そこで、いろいろのことを幼児にきかれて、答えられないし、いろいろのことを幼児に教えることが出来ないから、幼児を戸外に

連れ出さないという教師や親達は、本当に幼児を教育する熱意が足りないと断定せざるを得ない。

事物の名称を質問せられたならば、幸にその名称を知つてゐるときには、答えてやるがよい。もし知らないときには、「サア何でしようね」と受けで、幼児と共に、その植物でも、動物でも、観察するがよい。そして、「その色はどんなか」「形はどんなか」「足は何本あるか」「羽が何枚あるか」「どんなになつてゐるか」など、幼児に尋ねながら、幼児をしてよく観察させると共に、自らも観察するようになればならない。かりそめにも、幼児にいろいろの知識を授けようなどと考えてはならない。したがつて、「何か」という疑問に次いで起る「どうしてか」という質問にも、答えようとしてはならない。幼児が自然物自然現象に對して直觀し、幼児自ら直覺

することをどこまでも尊重せねばならない。科学知識などと称して安価な大人の知識を幼児に押付けるが如き態度を極力避けねばならない。

## 二

には、何でなければならぬという要求がない。それぞれの幼稚園の環境によつて、その幼児の身辺にある戸外を十分に活用することが戸外観察の真精神である。ソロモンの榮華も野に咲くゆりの花に及ばぬ。何でも幼児の視聽をひくものはよい観察の材料である。それでなるべく幼児と共にその身辺にある自然の観察を毎日行うことが大切である。

夏の戸外は幼児にとつて大げさなものではない。保育室を一步外に出れば立派な戸外である。二坪か三坪のお庭に出ても、戸外である。

夏の「戸外」と夏の「野外」とを混同してはならない。幼稚園

の庭でも、幼稚園の附近一糸以内の観察で、十分である。一步、室外に出ると、ありがいるし、かまきりがいるし、ちようやはちがとびまつていましよう。また、くもが巣をはつていましよう。またすずめもつばめも飛んでいるし、とんぼやせみもいましよう。あさがおやひるがおがさいており、はるしやきくやひまわりもさいていましよう。或はなすやトマト、かぼちゃやじやがいも、さつまいもなどを作つてある畠があれば、この上もない。なお、幼稚園の近くに小川や小さな池があれば申分がない。小川にも池にも、水草がはえており、めだかやふな、どじょうなどがいましよう。またみずすましやげんごろう、たいこうち、やごなどもいましよう。いもりにかえる、おたまじやくしなどもいましよう。それらは、幼稚園の環境によつて、それぞれ、異なること勿論であるが、幼児の戸外観察

は、戸外観察では、各幼児に心のつなをつけて、幼児の自由なことが出来るようではなくてはならない。

## 三

夏の戸外は日射が強いから、幼児が日射病にかかる用意と、虫などにさされたときの手当が出来るような仕度をして、戸外観察に出かけねばならぬ。小学生の野外観察のときに必要な準備ほどでなくとも、四十人の幼児を戸外につれ出すのであれば、室内の生活とは大に異なるところがあり、相当な心掛と用意を計画して、戸外観察を実施せねばならぬ。幼稚園の庭で遊ばせるときと異なり、幼稚園から一糸以内の戸外観察でも、即時に危機処置が出来るだけの心の準備と応急の手当の簡単な用意をせねばならぬ。一人の幼児に起つた事故の処理のために他の多くの幼児を放置するようなことがないように、四十人の幼児を悉く目の中に置いて戸外観察をさせることが出来るようではなくてはならない。

そして戸外観察では、各幼児に心のつなをつけて、幼児の自由な

活動をさせるようにせねばならぬ。幼児が好奇心を抱くものを自由に観察させ、幼児各自が、その五官を介して感得し体験することとを主とし、教師からいろいろのことを教へようとしたり知識を授けようとしてはならない。例えば「せみがないて」といふときは、「せみがどこにとまつていてるか」「せみはどんなにないて」と「どんなんにとんでいくか」「どんなせみか」などの問を出す位にとどめる。そして、あぶらせみとみんなんせみとひぐらしと、それぞれどんなにちがうか、せみが、さなぎで長い間の地中生活をなすことなどを、得意顔に幼児に教えるようなことは、禁物である。教師がいろいろのことと教えると却つて幼児の眞の観察を抑制する結果になるからである。

戸外観察では、幼児の疑問に対して安価な解決を与えることなく、幼児と共に、観察する態度を持することが肝要である。自然研究では、コムストックの「私は知らない」という眞の精神に徹底せねばならない。

#### 四

戸外観察では、出来るだけ、幼児の自由な観察を尊重せねばならない。しかし、幼児は破壊本能が旺盛であり残忍性に富むから、あらをふみつぶしたり、とんぼのはねをちぎったり、また蒐集本能でいろいろの草花をちぎりたりする。是等の行動を真正面から抑制し

ようとするよりも、破壊本能や蒐集本能を満足させて、観察実験する態度を積極的に養成することが戸外観察の使命である。

それで、夏の戸外観察に於て、幼児にはなかなか出来ないが、とんぼとりでも、せみとりでも、またかなぶんを集めることでも、ちよをとることでも、いろいろの採集をさせるがよい。そして、その捕えたものをくらべて見たり、標本にすることを手伝つてやるがよい。幼児の好むものを採集させることはよいことである。只はちにさされたり、くもにかまれたり、毒虫にさされたりしないように、また毒草や毒な実を口にしないように、注意せねばならぬ。

夏の戸外には、幼児の好むものが多いが、また幼児の好まないものの、幼児の恐れるものも少くない。幼児のいやがるのみずいやもり、また、幼児のおそれる毛虫やヘビなどを、強いて観察せしめようとすることは宜しくない。尤も幼児が恐怖心を抱くものには、何等の理由のないものが多い。それで、こわいもの見たさで、はちにでもくもにでも、毛虫にでも、幼児は寄つて、それらをいじくりまわすようなることがある。そんな時には、強いて止めるべく氣をつけ観察するように指導するがよい。しかし、とくにはちや毛虫に幼児がさされないように注意することは肝要である。

#### 五

夏の戸外では、幼児の自由な活動を尊重せねばならぬ。幼児が静かに観察することを要求しても駄目である。況んや全体の幼児に自然物や自然現象について一斉に説明するようなことを期待してはならぬ。しかし、戸外における自由な観察の活動をさせた後には、日かけのところで休ませ、「どんなことが面白かったか」「何を見たか」「どんなものをとったか」などについて、お話をさせててもよい。また、いろいろのことについての簡単な問答があつてもよい。しかしこれは重要なことではない。これは観察の整理という価値よりも、活動後の休息である。幼児の戸外観察は整理しない方が寧ろ価値が大きい。戸外観察はどこまでも、幼児各自が五官を介して、自然を直観するところに、その価値がある。自然に対する眼を開くのが戸外観察の精神であり、幼児各自が五官を十分介して自然物や自然現象を直観するための戸外観察である。かりそめにも、教師の死んだ知識を以て幼児の自然に対する眼を被りようなことがあつてはならない。教師は幼児に対して、自然物や自然現象についての知識を受けよう。それが日常のやさしい科学教育であるなどと誤解してはならない。戸外観察によつて幼児の身辺の自然に対する理解と態度の芽生えを養うことは、教師の説明による科学的知識の伝授によつて達成することが出来ない。戸外観察に於ては、教師は「私

は知らない。いつしょによく鍛ましよう」という態度に徹底する」とが最も望ましいのである。

(専修大学教授)

### ■ 「幼児の教育」九月号の定価据置き ■

—— 日保学会に少しても御協力したい ——

「幼児の教育」九月号は、毎年日本保育学会の特集号と致し、大会の研究発表と記録を掲載致しておりますが、このため毎年この号は定員五十二頁を相当超過し、増員に伴う臨時定価をつけて参りましたが、今回第七回保育学会の未だ且つて見ない大規模な研究調査の御苦心を拝察し、これに鑑み、これが御苦心に少しでも御協力致したきたため、本誌五十三卷九月号は、通常通り「五十円」として定価を据置きにいたします。

発行所 日本幼稚園協会  
発売所 フレーベル館

× × ×

# 戸外生活の指導

堀合文子

幼稚園の生活を戸外での遊びと室内での遊びとに分ける事も出来る。梅雨も上れば戸外での遊びが活潑になるだろう。

戸外遊びというと遊具を用いた遊び、かごめ、鬼ごっこ等の団体遊び、砂場あそび、草つみ、水あそび等自然対象のあそび等々が頭に浮ぶが、今戸外遊びを、ある角度から眺めて考えてみよう。

幼児の遊びは、家庭の延長であり、室内、戸外を区別せず、大なる活動、小なる活動が絶えず続けられている。室内で仕事して、戸外で活動するとは限らない。幼児にとつては室内も戸外

もすべて同じ遊びの場なのである。

砂場遊びは、大なる筋肉を充分に活躍させて、粘土製作と同じ砂場製作は常に創作されている。三才児の創作がそこに表現されている。室内で製作された作品はそのまま玩具として、園庭をかけまわつたり又池へ舟を浮ばせる等活用して戸外の遊具として遊んでいる。

園庭を散歩する。自分達の栽培した植木を世話する。飼育している動物を世話する。庭の椅子に腰かけて、友達の遊びを眺める。特殊な状態に幼児をおいてみると、誰でもが観察の目的と考えるが、勿論観察だが、幼児はこのような状態におかなくとも、園庭で友達と鬼ごっこしておいかけたり、おいかけられたりしていく。フランコを一しようけんめいこいでいても、常に園庭の自然の観察は行われている。室内で食事していくも、窓から入口からも戸外は観察されているのである。このように幼児の生活は戸外遊びをとわざ遊びの中に知識を得、遊びの中で身心共の発育をしているのであるから指導する私共も、計画の中におしこめず、計画のために幼児を動かして幼児の生活を束縛しないよう努力しなければならない。

したがつて幼児が室内にいる時は計画の中に生活させ、戸外にいるときは幼児に自由な遊びの生活をさせるという区別は不可能なわけであり、戸外遊びをそう区別して考えたくない。

## ○ 戸外での私共の位置の反省

太陽が美しく輝く下で子供達と鬼ごつことをする私共。すず風の吹

く緑蔭で子供達相手に絵本をよんだり、囲まれてお話や紙芝居をしている私共。木蔭でござを引いてままで遊びのお客様になる私共。

汗をぎらぎらさせながらかけっこしている幼児達の応援をしている私共。草が青畠のように生えていた草むらで、摘草したり、首飾、腕輪を一しようけんめいに作っている私共。幼児達と一緒に太鼓橋へ上つている私共。ブランコを一しようけんめいに押している私共。等々々々。

幼児対私共はあらゆる美しい絵を幾つか作り出している。自我を忘れて遊んでいる。四才、五才児になつて遊んでいる。その遊びの中で幾人か又は組全部の個性に接觸しているのである。Aさんがい

つもの我ままな所を出して友達と衝突した。Bさんが道徳的に反した行動をした。Cさんが皆と昨日した約束が守れなかつた。Dさんはいつも乱暴なのにやさしい所を見せた等、種々の問題や種々の個人にぶつかる。その場合、それぞれ、その個人個人に適した指導と処理がそこに下されなければならない。

鬼に追かけられて一しようけんめい逃げてばかりもいられない。太鼓橋やジャングルに夢中で上つてばかりもいられない。私共の神経は常に瞬時も休みなく多忙である。

ある時は幼児の母になる。ある時は友達になる。ある時は姉にな

る。ある時は先生になる。

その場、その場、その人、その人によつてこの変化を適宜に実行しなければならない。

### ○ 指導の着眼

このように私共の位置を反省してみると、

□ □ □ □ 組の幼児の個性を常によく心得て知る。

□ □ □ 機会をとらえて指導する。

□ □ □ 遊びも遊具も創作性のあるものを選択する。

□ □ □ 幼児の遊びをよく観察し、遊びの中から指導すべき計画を取り出し幼児の遊びをより発展させる。

□ □ □ 私共の立場も常に指導の立場ばかりでなく、年令に応じて私共の立場も考慮する。

これは三才児、四才児は比較的私共が先に立つて遊びを指導しなければならないが、五才児、四才児の終りにもなると、自分達で遊びのグループは出来ているので、私共は五才児の友達になつてその遊びに入れてもらわねばならない。その点私共の位置は年令に応じて変えられねばならない。

以上は、前にも述べたように戸外遊びだけに考え方ではないが、幼児の遊びの相手をしたり、遊んだりするだけの戸外遊びではなく、むしろ一日の中で一番大切な時である事を更に再認し、戸外遊びの種類の羅列には触れなかつたが、幼児と共にいる戸外遊びの機会が如何に大切か、指導を反省する材料になれば幸です。

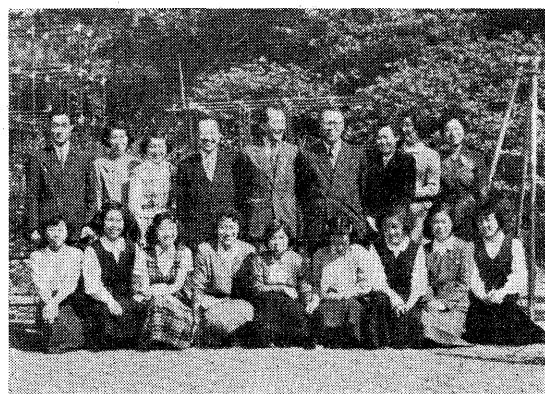
座談会

# 東京の家庭

——保育学会の幼児発達調査

から浮びあがる問題——

学会書記  
神村平山  
谷山井下  
映貞俊信  
子雄義郎  
出席者  
(順不同)  
竹松児  
田村玉  
俊康  
雄平省



(座談会出席者)

調査員

東京家政大学生

鈴木典子

鈴木九三子

お茶の水女子大学生

手塚佐枝子

清水久仁子

原明子

吉村郁子

今江寿美子

松山弘子

横山節子

中村允子

松本多美子

荒尾良子

日本女子大学生

廣瀬喜久子

柏森勝子

藤原孚子

池田よし子 金澤美佐子  
他に津守真先生出席

東京文化短大学生

## 山下俊郎先生挨拶

日本保育学会では、昨昭和二十八年五月三十日、日本女子大学で開かれた第六回大会に於て、学会としての共同研究を行ふことを総会で決定し、その研究テーマについては委員会に選定を委任した。当日引きつづき開かれた委員会でいろいろと相談し合つた結果、「日本の幼児の発達規準に関する研究」を共同研究のテーマとして選ぶことに決定した。

この決定に基いて共同研究委員として、委員中から、児玉省、竹田俊雄、平井信義、松村康平、村山貞雄、山下俊郎の六名が選ばれ、昨年九月以来、十数回にわたる研究委員会が開かれ、研究計画が審議された。

研究の規模は未だかつて見ない大規模のもので、三才から六才にいたる幼児一万名について調査することを目標とし、第一年次は東京地区で約四千名の幼児について調査し、第二年次に全国にわたる標本地区について約六千名について調査することになった。調査の方法は、調査票に両親が記入する部分と調査員が直接両親に面接して聞きまた幼児を観察する方法をあわせ用いる。(両親の記入の不充分なものは面接の際に直接質問によつて調

査員が記入する)。調査の内容は身体発育に関する部分は技術上の困難のため割愛し、心理的発達について、運動の発達、知的発達、情緒的発達、社会的発達の四つの面を調査する。調査対象となる幼児は、厳密な統計的基礎に基いて標本抽出法によつて選定する。実際の調査員としては、女子大学生を動員することとした。

このような輪廓で、まず基礎となる標本抽出のための基礎調査を住民登録によつて行つたのが昨二十八年末から二十九年一月までの間である。この際十六名の女子大学生を動員した。さらに、今年三月末から四月初の学年末、学年始の休みに、十日ないし十二日間にわたつて全部で六十五名の女子学生によつて本調査が行われた。実際の調査及び整理にあつた学生諸君はこの調査にあたつて實に涙ぐましいほどの協力を下さつたのであるが、調査の際に、またいろいろの経験をし、苦労もされたようである。この調査は、今昭和二十九年度には全国的に行う予定であり、

うことになつた。調査にあつた学生は、お茶の水女子大学、日本女子大学、東京家政大学、東京文化短期大学の児童学専攻の学生諸姉である。

この研究の第一回報告は神戸で開かれる日本保育学会第七回大会で行われる。なお、この研究には株式会社フレーベル館の好意ある御協力により、進行されているので、特に誌して感謝の意を表わす次第である。

(山下俊郎)

### ● 様々な担当地域

松村 最初は苦心談を話して頂きましたようか。清水さんは何だか靴の事で苦労されたと云つておられましたね。

清水 は、私が行きましたのは江戸川区の生活程度の物凄く低い所で、一日目に靴をはいて行きましたら、子供達がついてきて、「靴をはいてる、靴をはいてる」と石を投げるんです。それで二日目から下駄ばかりで行きました。(笑)

児玉 それは幾つ位の子。男の子。

清水 中学生位で男の子です。

児玉 そこは家が密集してゐる。

清水 長屋みたいのです。大体ガラス工場

なんかの工員さんが多いようでした。

松村 清水さんは初めから大変苦心された  
ようだけど、吉村さんはいかがですか。

吉村 私は港区芝の伊皿子で、知つてゐるお  
店があつて、その人が案内してくれ、色々と  
手伝つてくれましたのでやりよかつたんです  
が、知らない所では、「家の子は対象になり  
ません」と断わられたりしました。

松村 やりよかつた所もあるようですね。  
他に苦労なすつた方は、荒尾さんの所は。

荒尾 台東区の葵町で、これは上野公園の  
中にあります。最初は北葵に行きましたが、一  
人で行くのが恐かつたんです。でも入つてみ  
るととても親しみ深くて、幼稚園の先生が来  
たと喜んでくれました。万年町では「どこか  
ら來たか」とか「何故來たか」と、攻撃的に  
聞かれましたが、葵町はすぐ信用してくれま  
した。初めは保育学会というのを説明してみ  
たんですけど、しまいには幼稚園の先生にな  
りすましました。(笑)

竹田 その住民はニコヨンですか。

荒尾 大部分そうです。二層敷き一間位で

とても非衛生的なんです。

竹田 葵町は寛永寺の境内で、地下道から

上った住民の部落ですね。万年町というのは  
明治以前のスラムですよ。震災後は大分変化  
しましたが。

児玉 危険地域ですね。いゝ所に当つた。  
津守 万年町というのは、今は経済的には  
それ程でもないんですが、生活形態が他と異  
るんです。万年町では大分断られたんじやな  
いんですか。

荒尾 一日目に用紙を置いてきて、二度目  
に集めに行つても書いてないんです。その場  
で聞きながら書いたのが多いんです。とつ  
きにくいく所でした。表通りや二階借りの人は  
まだいいんですけど。

松村 葛飾や渋谷の方は。

広瀬 渋谷の方は上流・中流・下流の別が  
とてもありました。一番ひどいのは特飲街で  
こゝはお巡りさんに止められました。屋間  
しまつていて開くのは大体四時間頃ですが非  
協力的でとても駄目でした。何にするかとし  
つこく聞かれて。

竹田 スパイだと思うんですね。

広瀬 放送局ならいゝけど保育学会なんて  
知らないって。先生方が夜いらつしやつて実

態調査なさるといゝかも知れない。(笑)

鈴木九 葛飾の南立石は、工場街で、四畳

半一間の長屋が多いようでした。前に詐欺が  
あつたのでとても警戒的で、経済的に負担が  
かゝつてこないかと大分気にしていました。

二日目からは信用してくれましたけど、字の  
読みない人が多く、代りに書いてきました。  
本田淡ノ須町は、生活程度が割と高く、お母  
さんに高女卒の人があつたりしてやりよかつ  
たんです。

松村 中にはお茶を御馳走になつた人もあ  
つたようでしたね。

手塚 新宿区の四ツ谷三丁目のYシャツ屋  
さんです。ここは小さい商店街とマーケット  
を改造した小屋みたいな所の多い地区ですが  
一般にやりよく、お茶をいれて持つて来てく  
れる家や、子供の絵を集めたのを見せてくれ  
る家がありました。生活が比較的楽で主婦が  
家に居りますので、話し相手が欲しかつたの  
かもしれません。それに愛育会の名前が利き  
目がありました。

松村 愛育会のおひざ元の今江さん、どう

でしたか。港区麻布三軒町でしたね。  
今江 大体にいゝんですが中にはひどく返  
対した人もあります。幼稚園の入り方やテス

トの方法を聞く家もありました。

山下 現在幼稚園に通つてゐる子供の家は

ありませんでしたか。

今江 ありました。調査の内容も大体知つていて、前にもやつた事があるといつてました。ひどく反対した家は親類の子が通園していく小学校の入試に落ちたとかいつてましたけど。(笑)

松村 この大学(お茶の水女子大)近くの文京区の方は。

原 私は東大の前の長屋で、非協力的で調査にくく何處も無駄足をふみました。東大前だから環境がいいのかと思ひましたが、路次をはいると、飲み屋やニコヨンなんかが多いです。

松村 日本女子大のそばはどうでしたか。

柏森 私は早稲田のそばでしたが、同じ番地でも探すのが大変で、電報局で聞きました。割と協力的でしたが、「何故家を対象にしたか」とよく聞かれました。アパートで生活のひどい所が一軒ありましたが、そこは名刺を出しても返され、ひどく拒否的で、無理に頼んできましたが、二日目にも何も書いてない。それで聞きながら書いていると、近所

の人が黒山のように集つてきました。(笑)

松村 その他に学校のそばをなすつた方。

金窪 中野区の本町通りでしたが、大通りを中心にして、右側と左側では協力の仕方が大分違いました。初め民生委員の家にぶつかつてその人が案内してくれましたので、とても親切にされました。小住宅地ですので、幼稚園児の家庭等が多く、記入の仕方や観察の方法も知つていて、やりよかつたと思います。片方は拒否的で書いてなく、その場で聞きながら書きました。私は中野区に住んでおりますので、その点幾分他の方よりやりよかつたかと思ひます。

松村 住んでいる近くをなすつた方が出来ましたが、横山さんもそうでしたね。

横山 同じ区内です。杉並区の阿佐ヶ谷で

サラリーマンが主で割とやりよかつたんですけど、「何故家の子を選んだか」と質問されてしましました。ランダム・サンプリングの事を云うと、がつかりするんです。

池田 私の所は郊外で、畠地が飛んでいて探すのに大変でしたが、全体にお勤め人が多く、やりよかつたと思います。印象に残つたのは「お母さんがいない」というのを、不在

だと思つて、用紙を置いてきますと、亡くなつたのであつて、高校生の娘さんが記入して

くれていた家があつた事です。

松本 私は新宿区でしたが、お母さんがおびえてしまつて、説明も聞いてくれないのがありました。それから、「宅の主人が近頃はひつかり易いものが多いから欺されるといけないと申しますから」と云つて書かないのがありました。説明で大体わかつてくれました。たけど。他は大体協力的で、結果を見せてほしいといわれました。

神谷 愛育会の方へお電話で御主人から説明を求めてきたのがございました。これは御主人ですが、奥様からのが三例程ありますた。

松村 練馬区の方はいかゞでしたか。

中村 中村北一丁目は中流の家が多く、説明すれば解りました。東大泉は範囲が広く、畠地が飛んでいて、駐在でも離らないんですね。一日に一里以上歩いた位です。農家の二軒は教育委員で、協力的でしたが、他の二軒は忙しく子供を見ていないからと断られました。お洗濯をしている傍にしゃがみ込んでいたんですけど。朝・昼・夕方と三回行つ

ても駄目でした。農家は駄目ですね。

鈴木典 上目黒・下目黒では、商店が殆んど忙しくて駄目です。一軒例外はおしし屋さんです。昼間はひまだから、愛育会を知つている人はよかつたんです。一軒とても協力的で、お子さんが人みしりしてテスト出来ないのを一生懸命にやつてくださいたお宅があつたんですが、愛育会の塚本先生のお宅でした。

藤原 千住の方で、文化程度がひどく低く貧民窟みたいな所がありました。警戒的で書いてくれませんでした。一体に親が子供にきびしくよく叱るんです。

津守 本木町の方へいらつしやいませんでしたか。万年町の住人が、本木に移つてゐるですが。

藤原 そちらへは参りませんでした。

松村 東京を振りだしに、全国へ。お江戸

日本橋からといふことで……。最後に、日本橋をなすつた松山さん。この調査は。

松山 私は日本橋の堀留町と両国町でし

た。問屋街で同じ番地が多く、近所づきあいも少いのか、聞いても解らないんです。町会事務所に飛び込んでやつと見当がつきまし

た。お母さんが小学校卒、お父さんが商業学校くらいが主で、保育学会の事などなかなか呑み込めませんでした。納得してくれても、二度目に行つてみると承諾したのに、全然記入してないんです。忙しいんでしようけど。それに、お庭なんかない様な家ですから、子供は家で店員と遊んだり、路次で遊んだりで観察も出来ないんです。

松村 近所で聞いてもわからぬといまお話をありました。三軒先は不明とは、都会の一つの特徴ですね。この調査は、東京を中心全国に散らばる調査ですが、その中心の日本橋で都会の特徴が出たところで、担当区域の苦心談、経験談はこのぐらいで打ち切り次に、調査の時の面接態度について話して頂きましょうか。

#### ●無駄のない訪問のために

竹田 先程から家を探す困難さがいわれていますが、家の探し方を今後どのようにしたらよいか、みなさんの経験からおききしたいのですが。

中村 地図が間違いが多くて困りました。手塚 私は交番に行きましたけど全然わからんないです。古いお店に行つた方がよいと云われて古いカバン屋さんに行きました。

竹田 転居が多かつたのは、サンプリングと調査の間に二ヶ月の間があつたからですね。これはなるべく短くするように手はずしました。字は書いてくれた学生に注意しなければいけなかつたんです。名前の違いは台帳の間違いもありますし、書いた人の間違いもあるでしようね。

松山 生年月日の間違いもありました。昭和二十六年だと思っていたら、本当は明治二十六年なんでした。(笑)

児玉 それは一寸ひどいな。おじいさんが出てきましたか。(笑)

竹田 家の探し方について何か。

恒森 電報局では目的を云うと大きな地図を見せて、主要な目当てを教えてくれました。おかげで午後から十六軒廻りました。

松村 不確かな教え方をされたら頼るのは危険でしょうね。

児玉 交番なんかは。

今江 親切でした。地図なんか書いてくれて。

竹田 お店では何屋がいいでしようね。

手塚 矢張り配達するお店なんかいいよう

です。米屋・炭屋・うどん屋など。

松山 町会事務所はその町の案内図が張つ

てあつてとても助かります。それから、同年  
令の子供に聞いても割によくわかります。

児玉 近くまで行つてからなら子供もいい

けど、最初から聞いちや駄目だな。

荒尾 菓子町なんかは番地がないんでみな子

供に聞いて行きました。大人は駄目ですけ  
ど。

児玉 みんな何時頃行つたの。

荒尾 十時頃から午後五時頃までは忙しく

て駄目なので、九時頃行きました。上野公園

はお花見でしたので。雨の日はひまでいいん

ですけど。

広瀬 商店は三時頃がよいといいます。一  
番お客様さんが少いそうです。

竹田 月曜はデパートが休みだからね。  
(笑)

手塚 戸山アパートは三時前が良いといい

ました。理由は、それ以後は入浴・買い物・  
夕食の仕度と忙しいからだそうです。

今江 お店は二時頃。赤坂の料亭も二時頃

でした。

竹田 放送局の婦人の時間のころがよいん

ですね。

#### ● 間接の場合には

松村 今度は調査の主体をはつきりさせる  
為にはどんな説明をしたらよいかということ  
を考え頂きましょう。皆さんの経験では。

竹田 三千何百軒の被調査家庭で保育学会

を知っていたのは、恐らくないでしようね。

柏森 最初の日、この調査は日本で最初の

研究だといつたのですが、はつきりしない。

次からは、具体的に、これができると発達の

規準ができ、保育者が保育し易くなると説明

すると、割に納得してくれました。

竹田 具体的に説明するのはよいことです

ね。

松村 自分自身はどういう資格で行きましたか。調査員ですか。

横山 学校の名前で意外に信用されまし  
た。

荒尾 私は幼稚園の先生になりました。そ

れが一番信用がありましたので。

児玉 学会の名前は知らなくてもいいけど  
愛育会の名前はどうかしら。

竹田 一部では通用しますね。逆に恨みの  
あるのもあるかもしれないが。(笑)

松村 民生委員の紹介で行つた方があります  
したね。調査の主体が民生委員と保育学会の  
両方と思われなかつたかしら。

児玉 場合によるとそれもいいかも知れな  
い。

広瀬 町会みたいな所から公に知らせても  
らつたらよかつたかもしれません。

松村 調査は易いけど、町会に知られるとい  
う気持が調査をゆがめるおそれもあります  
ね。

竹田 そう。一般的にはよくないでしょ  
う。地区によるけど。次に、「何故家の子が  
選ばれたか」と聞かれたら、どう説明したら  
よいでしょう。

中村 皆に聞かれる事ですから、調査用紙  
のすみに簡単に書いておいて下さるとよ  
いと思いました。

手塚 「代表です」というとお年寄りやお  
母さんは喜びます。

児玉 代表というとよく書こうという気持

を起させる恐れがあるね。サンプリングで選んだといった方がいい。

鈴木九 そうです。代表と云つたら、「お隣りのお子さんの方が代表としてはよいでしょう」と云われて困りました。

松村 でも、ランダムに選んだといつたらがつかりされて、調査がうまくいかなかつたというのもあつて、なかなかむずかしいですね。

松村 では、今度は調査者の態度ですが、どんなんのが最もよいと思われましたか。

鈴木典 子供と親しくなれることは必要ですね。警戒心がほぐれます。

広尾 訪問する家庭の経済状態によつて、服装も適当に変えることがいいと思います。ことに下流の地区へ行く時は気をつけて。

児玉 下駄をはいて行くとか。（笑）

広瀬 それにいつも下手に出でおだやかにわかり易く説明することが大事です。

松村 けんかしたら駄目ですね。（笑）

山下 男の学生ならけんかしちゃうね。

清水 私は矢張り学生らしく、年も若く見てもらうのがよいと思います。老けて見える

と他の目的の調査に誤解され易いんです。

松村 言葉づかいは。

清水 私それで失敗しちやつた。お手洗いと云つたら洗面と間違えられました。それから敬語はいけませんね。わかりにくくし。

児玉 それは大事なことかも知れないね。

敬語は相手を固くする恐れがある。

竹田 相手は大部分お母さんでしようが、それ以外には。

中村 お母さんの絶対出てこない家もありました。いつもお姉さんで。

手塚 お母さんが勤めていて子供は女中が見ているからと、女中さんが答えたのが二、三ありました。

松村 色んなタイプのお母さんに会われたと思うけど、大別してどうですか。どんなお母さんがいたかしら。

金窪 在園児のお母さんは熱心ですし、こ

んな調査に慣れていますね。

荒尾 質問すると傍で子供の代りに答えてしまおう母さんがあつて困りました。それに難しいかも知れない。

「出来ないと、この先生に叱られますよ」なんて子供をおどすもんですから、子供がすつかりおびえてしましました。

清水 ブランコを見たことがないとか、家には敷居がないとかいうのがありました。問題が不適当じやないでしようか。

清水 経済的に困つて居る家で恐怖心が先立ち、お母さんがすつかりおびえてしまつたのがありました。子供もかくれてしましますし、とてもやりにくかつたんです。

竹田 恐怖心を解くにはどうしたらいいでしょうか。

金窪 調査等といふといふにも難しそうです。見せる前に向うから断るんで、見せると案外やさしそうだと思うらしいんです。

児玉 そうね。それはそりだらう。それから聞く時は一番から順々にじやなくて、項目を適当に飛ばしてあちこちからうまく聞き出すんだね。

#### ●調査用紙への註文

横山 調査用紙の問題ですが、面接して聞いていくと、案外同じようなのがあつてしつこいんです。とばしてやつた方がいいんですけど。

松村 問題の数が少いとい、けど、数が多いから、うまく飛びとびに出来るかどうか。

難しいかも知れない。

手塚 ブランコを見たことがないとか、家には敷居がないとかいうのがありました。問題が不適当じやないでしようか。

吉村 花の名の所なんか、丁度季節の花だけいつて、  
他は忘れてるらしいんです。「花の名前を幾つぐらい  
いえますか」よりもむしろ「花の名前を五ついつてごら  
ん」の方が、意識的に思い出そうとしているんじゃない  
かと思いました。

竹田 そんなところは、インタービューの仕方でずい  
分まちまちの結果が出ているでしようね。

児玉

難しい所だね。

金澤

可成りとか時々とか記入しにくいですね。

清水 しつと心とか競争心など、小さい子供について  
はわかりにくいやらしいですね。具体的に「こういうのも  
しつとです」と説明しましたけど。

竹田

大人だけのものと思われがちなんですね。他に

は気づいたこと、ありますか。

荒尾 五の三十六番、問題があいまいで書いてもらえて  
ませんでした。それから三の五十七番は四十八番とだぶ  
つてあるんじゃないでしょうか。そしてこれは否定文に  
しない方がはつきります。

横山 説明してる方もわからなくなつちやうことがありますね。(笑)

荒尾 十七番から二十六番迄は、「怒るというより泣  
くんです」といわれました。怒つて泣いているのか、た  
ゞ泣いてしまうのか区別がつきませんから。

中村 正方形は誰も書けませんでした。矩形なら書け

日本幼稚園  
協会主催 ゆうぎ講習會

○欧米の幼稚園教育について

○創造性をひきだす簡単なあそびと外国の子供のゆうぎ

お茶の水女子大学助教授 戸倉ハル 講師

期 日 昭和二十九年七月二十一日——二十五日

(午後一時——四時)

会 場 お茶の水女子大学体育館

会 費 参百円(会費は当日お払込み下さい)

[注意] 七月二十一日——二十五日の午前には、附属幼稚園に於て教  
育原理(一単位) 松村康平先生の認定講習会がございます。

お茶の水女子大学附属幼稚園

(東京都文京区大塚町三十五)

講 習 会 係

るけど。

松村 そうですね。これは手本を刷つておくとよかつた。今度はそらしましよう。

荒尾 満二才の子供さんには、大人との関係の項は無理です。それに賛成・指てき・訂正等の言葉の解らない人が多いようです。

児玉 ずい分直したんだけど、まだ難しいね。

広瀬 三の一番などは、同じ「泣かない」という答えでも意味が違いますね。これを一緒に統計するのは問題でしょう。

荒尾 母のない子は母に関する項が出来ませんし、近所に男の子が居ない家では、「男の子と遊ぶか女の子と遊ぶか」にも答えられません。

松本 問い方が面倒ですと、よく考えずに記入してある事が多いようです。こんな所ももう少し何とかしたいと思いました。

松村 色々とお話し頂きましたがそろく時間ですしこの辺で山下先生になにかまとめて頂いて。

山下 特別にまとめることがありません。たゞ、今日は熱心にお話し頂き、大変参考になりました。「ありがとうございました」とだけいわせて頂きました。

竹田 この後、まだお気づきのことありましたら、どうぞ学会當てにお知らせ下さい。

松村 ではこれで。ありがとうございました。

お茶の水女子大学主催 幼稚園教員免許法認定講習會

期 日 昭和二十九年六月下旬から七月下旬まで

会 場 お茶の水女子大学附屬幼稚園

受講資格 幼稚園教員免許状所有者（臨免・仮免・二級普通免許状）

科目・単位・講師

一般教育(自然) 地学 一単位 お茶の水女子大学助教授 能 登志雄講師

(人文)文学 一単位 お茶の水女子大学助教授 関根 康平講師

教職科目 教育原理 一単位 お茶の水女子大学助教授 松村 康平講師

専門科目 図画工作 一単位 お茶の水女子大学講師 林 健 造講師

お申込み手続きは左記へ。手続きの詳細は郵券を添えてお問合せ下さい。な

お、七月二十一日からの教育原理は満員になる見込みですから早く手続きをなさって下さい。

昭和二十九年五月

お茶の水女子大学附屬幼稚園

(東京都文京区大塚町三十五)

講 習 会 係



## 夏の

# 山村地方の保育

岩崎香

私は現在疎開したまま静島県の田舎に十年  
ちかくも生活してきました。そしてその間に  
山村の幼児をふくむ子供について色々の事を  
経験し考えてきましたが、その考え方と、時折  
東京から帰省して見ていた頃の山村の幼児に  
対してもつていた考え方との間には色々のくい  
ちがいが数々あります。

都会生活を私がしていた頃にははつきりと  
した形をとつた考え方ではありませんが漠然と  
頭の中で、朝夕豊かな自然の中に生活をしてい  
る幼児は自然界とか現象については、都会生  
活を持續している幼児よりは興味をもたない

のではないかと云う事を考えておりました。  
ところがこうやつて私自身を落ちつけて山村  
で生活をしてみると、山村の幼児、子供は  
実際に自然に深い愛着を無意識にもつており又  
様々な自然現象に対しても非常に敏感である  
事を幾度か折にふれて知つたのです。

幼時自然の中に花を摘み枝葉を弄んで生活  
をしたフレーベルは、親友のウツカーマルク  
の美しい農場を訪ねた時、

「この美しくて而も静寂な周囲を私は花か  
ら花へと蝴蝶のように楽しく飛び廻つた。  
私は自然の彩られたそして真珠で飾られた

衣裳そのものを心から愛しそして私の青年  
らしい歓喜を以て自然に愛着した。そこで  
私は山水といふものはこのような気持ちで  
みるとその美しさを増して見えるものであ  
ると云う事を初めて発見した。

私はこの消息を次の言葉で云つて見る。  
「我々が自然に接することが親しければ親  
しいほど自然は総てを一層美化して我々に  
戻して来る」これは心情に感じたところを  
私の精神が初めて敢て云い表して見たので  
ある。後年になつてしばしば私はこの言葉  
の真実であることを知つた。

と云う一節を彼の自伝の中に書いています  
が、語ることの出来ない心の中に拡つている  
自然への愛着もこの傾向のものである事を私  
は感じとります。

山村の幼児 子供はみち溢れる美しい自然  
の中に生活をしているのに一刻をも惜しんで  
小川を求めて歩いたりみどりの深い山を目指  
して歩く事がとても好きです。

ほおを切る様な寒風のふき荒ぶ冬につもう  
た厚い雪の下からうすみどりのふきのとうが  
頭をもたげ、黄色、白、桃色、紅のとりどり  
の色と形をもつた花がそこそこにやわらかい

みどりの葉をつけて咲きみだれる頃からは児達は自然界のよみがえりと比例して活動的になつて行きます。そして夏は幼児の活動は頂点に達します。早い日の出と共に幼児の活動ははじめられ一日疲れたのも忘れてあたかも何物かにみせられた様に懸命に自然の中をかけ廻つております。

小川の魚とりに、水泳ぎに、蟬やとんぼや蟻々を追いかけて夏草の咲乱れる野山に、くる日もくる日も幼児はあくことなく活動をつづけます。自然即生活の様な毎日を送つてゐる山村の夏の幼児の保育につきましては私共幼児を保育するものはどう云う事を考えたらよろしいのでしようか。

私はまず第一にすべての点において最も戸外生活の適当であるこの時期に更に豊に自然生活をすることが出来る様に幼児の保育を計画して行きたいと思います。現今の様な社会の情勢では幼児の生活をすべての点で最低線においてさえ保障してやることが困難でありますけれど自然を基に生活することは貧富の差もなく男女の差もなく出来得ることなのですから私達保育するものは、幼児のよい相談相手となつて幼児に心ゆく迄自然生活をさせた

いものだと思います。幼児は自然の中に遊ぶことによつて生命について考え、魂について考える機会を与えられること思います。

再びフレーベルの自伝をひいてみると、

「自然との接触はすべて人間を高尚にし、

力強くし純化するものである。故にこのよ

うな自然は恰かも氣高い偉人の様に人の心を惹き附ける。だから私の生活も亦学校及び教授の許す場合には何時でも自然における生活であり自然と共にする生活であつた。

近くの高い山の頂から私は鮮なそして

静に沈み行く太陽や遙か彼方から薔薇色の

光り輝く残雪や氷河やアルプスの山脈やを眺めて樂んだ。実際夕方の散歩は晴朗な日

の落ちる頃は私に全くことの出来ない必要

なものであつた。

照らされている広い岡の上を或は水晶の

ように清らかなそして鏡のように滑らかな

湖水の静な岸辺に沿うて、或は高い林樹の

うつ蒼とした葉間の道を逍遙する時私の魂

と私の心情とは純粹な神的實在と人間の高

き価値とのイデーに充ちそして私は幸にも

人間を神の愛児と考えることが出来た」

とあります。が山村にかけめぐる幼児の心と

偉大なフレーベルの心との間に大そなへ

たりがありますが、私は傾向として同じ方

向のものであると考えます。そしてもしも夏

の山村の緑の厚く繁つた枝をはる樹の下で昆

虫と戯ぶ幼児が語ることができたら、又澄

んだ小川に小魚をおう幼児が思いのままをの

うる言葉をもつていたならばフレーベルに共

鳴する何ものかをきく事ができるかもしれません。しかし語ることの出来ない幼児の輝い

た顔からは言葉を通してでなく直接心から心

へ無形のしかももつとも雄辯な喜びの表現を

受けとることができます。

次には幼児達が充分に自然の中に生活をし

て得た収穫を心の庫におさめてやりたいもの

です。それには私達保母には愛情だけではな

く科学的な知識・技術を必要とするでよ

りませんが、出来るだけ努力して獲得したい

ものだと思います。日毎幼児の保育に疲れ難

務に追われる幼稚園の先生や保母さんとつ

ては限られた時間と体力とでは勉強も思う様

には出来ませんけれど、幼児のもとめる何分

の一つの答えを正しく与えてやりたいものだ

そしてもう一步進んで幼児の得た収穫を展

かつたであろうかと考えるのです。

の中から

開させて表現をするところ迄もつて行きたいものだと思います。一般の農村の人達は色々のよい長所をもつておりますが、欠けていることは表現のできないことです。これは表現をしないから出来ないとも考えられることな

ですが。心の中にあるものを素朴な形においても表現をすると云うことが出来ないと云うことには大きい欠点だと思います。

ある夏P・T・Aの会合に行つてもそれをしみじみと感じた事でした。集会の時間中司会者から幾度うながされてもつまらない簡単な議事に対して賛否さえの発言もしない人達は、いざ解散をして校門を出た瞬間誰もかれも競つて意見をのべるのである。しかもその意見の大部分が悪意にみちているのです。

人間よ、汝はかかる自然の秩序に於て真理を探求せよ。さらば汝は必ずや真理を見出すであろう。

又汝の立脚地のために

如何にその真理を用うべきかを。

言葉の上に絵の上に音樂の上に又それ等の総合されたものの上に、心ゆく迄する事の出来

る幼児が生長をした山村は、やがて明るいそして調和のある形態をもつた美しい自然にふさわしい山村となる事でしよう。

山村の保育は勿論夏のみに重点をおくべきではなく四季折々の変化にふれてよい保育を

えられます永遠に価値の失せない宝石を、ベ

山区の保育は勿論夏のみに重点をおくべきであることが出来ましょが、ふたばの幼児に

科技大学が指示してくれました事を改めて此処にくり返し瞑想をもつて考えてみたい

ものだと思います。

山区の保育は勿論夏のみに重点をおくべきではなく四季折々の変化にふれてよい保育を

えられます永遠に価値の失せない宝石を、ベ

山区の保育は勿論夏のみに重点をおくべきではなく四季折々の変化にふれてよい保育を

えられます永遠に価値の失せない宝石を、ベ

山区の保育は勿論夏のみに重点をおくべきではなく四季折々の変化にふれてよい保育を

えられます永遠に価値の失せない宝石を、ベ

山区の保育は勿論夏のみに重点をおくべきではなく四季折々の変化にふれてよい保育を

えられます永遠に価値の失せない宝石を、ベ

山区の保育は勿論夏のみに重点をおくべきではなく四季折々の変化にふれてよい保育を

えられます永遠に価値の失せない宝石を、ベ

最後に、ペスタロッチの「隠者の夕暮」



## 夏の 海岸地方の保育

湯原香代子

海と山に囲まれ温泉あり健康地として恵まれた環境の中に専衛生的躰を徹底し幼児の健康を充実したいと思つています。

幼稚園として特別な海岸の保育は実施いたして居りませんが時々出かけて経験した遊びを拾いあげてみましよう。午後になれば自由に子供達は家の誰かと出掛ける様に約束していますので元気で浮輪を肩にかけて行くのが常です。幼い子等の個々の健康状態を充分調べながら出掛けなければならぬ事は云うまでないことで弱い体の子供達は、はだしにもなれないで、友達の楽しそうな様子眺めな

がらニコニコ喜んで砂の上に腰をおろしています。砂浜での遊びの数々は地方によつてさまざまですようが、幼児の砂遊びは最も樂しい遊びのひとつではないでしょうか。丁度しめり工合のよい砂をにぎつて団子をつくる。少しばかりの粘土遊びとは異り自由にどれだけでも手に入る。手をはじめ水にぬらして砂をにぎる紅葉のような形や手のにぎりかたにより図案めそびもあり、池のように砂地を掘つて小魚を入れて喜んだり銀砂をさらさらと盛りあげて大きな山を作りとんねるをこしらえる。また玉ころがしができる。柔かな砂を

あげてある小舟から砂の上に飛びおりて遊ぶ。海草「ほんだわら」など拾つては、ボンボンとぶして遊ぶ。礫物取りもたのしい「いそつ」といつています。

又、ふぐつりなど防波堤に腰を下して、あまざまめしよが、幼児の砂遊びは最も樂しい遊びのひとつではないでしょうか。丁度しめり工合のよい砂をにぎつて団子をつくる。少しばかりの粘土遊びとは異り自由にどれだけでも手に入る。手をはじめ水にぬらして砂をにぎる紅葉のような形や手のにぎりかたにより図案めそびもあり、池のように砂地を掘つて小魚を入れて喜んだり銀砂をさらさらと盛りあげて大きな山を作りとんねるをこしらえる。また玉ころがしができる。柔かな砂を

あげてある小舟から砂の上に飛びおりて遊ぶ。海草「ほんだわら」など拾つては、ボンボンとぶして遊ぶ。礫物取りもたのしい「いそつ」といつています。

又、ふぐつりなど防波堤に腰を下して、あまざまめしよが、幼児の砂遊びは最も樂しい遊びのひとつではないでしょうか。丁度しめり工合のよい砂をにぎつて団子をつくる。少しばかりの粘土遊びとは異り自由にどれだけでも手に入る。手をはじめ水にぬらして砂をにぎる紅葉のような形や手のにぎりかたにより図案めそびもあり、池のように砂地を掘つて小魚を入れて喜んだり銀砂をさらさらと盛りあげて大きな山を作りとんねるをこしらえる。また玉ころがしができる。柔かな砂を

たらたらと高くもりあげて、なんだか面白い言葉をくり返したり、こわしてはまた築きあげる。くり返しては笑顔で先生を招く。砂のかべたスイカを拾いあげ棒をもつて三回廻わつてたたくなども見られる。小石を並べ家を作つたり、いろいろの工夫された座敷なども面白く出来上る。まことに遊びも始まる。小石を海に投げて輪を画くのをよろこび、岡にあげてある小舟から砂の上に飛びおりて遊ぶ。海草「ほんだわら」など拾つては、ボンボンとぶして遊ぶ。礫物取りもたのしい「いそつ」といつています。

又、ふぐつりなど防波堤に腰を下して、あまざまめしよが、幼児の砂遊びは最も樂しい遊びのひとつではないでしょうか。丁度しめり工合のよい砂をにぎつて団子をつくる。少しばかりの粘土遊びとは異り自由にどれだけでも手に入る。手をはじめ水にぬらして砂をにぎる紅葉のような形や手のにぎりかたにより図案めそびもあり、池のように砂地を掘つたりする危険があり、よく注意してさがせる。赤べろ、青べろなどのきれいな小魚、えび、かに取り、小さなバケツを手に網をにぎ

い。砂浜で足を水につけて砂遊び、砂に画く

洗つて帰ります。

愉快さ、波が来ては消えてゆく面白きを繰り返す書き遊び、波にたわむれるリズム遊び、小林やつえ先生の作曲なさつた貝拾いは、ほんとうにびつたりと子供に親しまれ、いつも喜ばれます。

暑い砂の中に友達をうずめたりうずめられたりの遊び、わずかに顔だけを出して、ニコニコと笑つて喜ぶ、又先生を熱い砂にうずめる時のうれしそうな、みんなの樂しい力強い作業ぶり、あつくなれば海水に入りました砂浜にねこらんだり、丸くなつてお話を始まる。

のあと注意が大切で眼を悪くしたり、耳に水を入れたりしてはいなかよく調べて手当は常に、おこたりなくしなければなりません。日射病や、腹痛なども特に注意しなければなりません。

海にゆく時も海のあそびのあとも幼い子等の個々の健康状態を充分に調査して出来るだけを見まわしている弱い子等の顔も輝いてみえる。遊びは、それからそれへとつきないが適度な海の遊びがなにより大切で疲労するまで遊ばないよう心掛けねばなりません。五月六月ともなれば暖かい日は珍らしくもない程、海の子らとして、たのしい生活経験を味つています。波をかぶつて泣笑い。板切れをもつて

波乗りあそび、水かけあそび。浜には温泉の流れをブールにためてあるのもあり、その中に入りあたたまる。潮水をきれいに洗い流して海水満をぬいで砂のついた下駄もきれいに

初夏の海、朝早くまたは夕焼けの頃の地引網を染しむ子等の姿、沖の方へ舟が、二艘で両方から網をどんどんおろしてゆく、その地引網の手伝も興味あり、エンヤラエンヤラと

声を合せて網を引くりズム楽しい遊戯のひとつである。あたりの小魚のこぼれを拾うのも

た健康そうな体を並べて『黒坊大会』をして誰が一番黒いなどと健康について話合います。皮膚を強くして、冬になつても風を引くことのないようにと鍛えられます。海の遊びのあと注意が大切で眼を悪くしたり、耳に水を入れたりしてはいなかよく調べて手当は常に、おこたりなくしなければなりません。

裏山の蟬の声も、子供は早く聞きつけて海

のあそびの間に、蟬取りをまたせがまれて袋を作の先生達の楽しい笑顔もいつもうれしい。

土用波の頃ともなれば、海で拾つた貝がらや磯草などの採取物をならべた保育室でピアノを囲んで海の憶い出にいつまでもリズムは

(伊東市立伊東幼稚園主任)

あげたにすぎませんが、夏の海は子供を呼んでいます。健康にし、しかも、たのしい自然の観察も豊かに社会性も培かわれてゆく保育へと今後の研究課題といたしたいと思います。

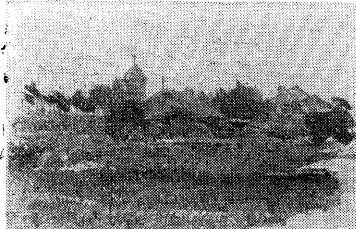
×

×

×

×

# 公園と児童



茂山中

私が生まれて育つたのは、東京から汽車で三時間ばかりの田舎町で、中央通りでも裏へ抜ければ麦畑や木の繁つた丘があるのでそこであつた。私の家は表通りに面した高家であつたが、家の裏には谷が深く、いりこんでいて、その谷には魚の釣れる池がありそこから田圃が細く続いていた。谷の片側は他方より少し高くなつて丘になり、その丘へは私の家の裏から崖伝いに行くことができた。

この丘の上には桜やしい、けやき、かやななどが繁り、花見、椎の実ひろい、かやの実とりの遊び場であつた。丘の中腹が段になつていて、そこに椿、つけ、ぐみの三本の木がたたまつて、いるところがあつた。ここは私たちの遊び場のセンターであつた。

私の近所には年上の男の子がいなかつたので、幼児のころの遊びのリーダーは年上の女の子であつた。その女の子が大きくなつて、この遊び場へこなくなることは、だいたい私と同年輩の男の子たちが中心になつて遊んだ。

だ。女の子がリーダーのときは、まことに遊びが多く、よくある性的な遊びも行われたことがあつた。しかし、私たちの男の子ばかりの世界になると、つげの木の枝には荒縄がぶら下つてブランコができ、枝のしげみを切開いて板を敷いて樹上の家ができる。私たちはここで本を読んだり、歌を歌つたりした。ぐみの実が赤くなる頃は、ぐみの実を食べた。椿の花が咲くとその花で首輪を作つたりした。またつげ、椿、ぐみの三本の木の枝をつたわづて鬼ごっこをした。つげの木の根本には飼猫の死骸を埋めて墓をたてた。その墓のしるしにたてた棒切かを抜いていつて焚きつけにした日雇のおじさんの家に猫が化けて出たといふような話を作られた。

この遊び場も、私たちが野球にこり出して千島クラブという少年野球団を結成するに及んで魅力がなくなつてしまつた。しかし、ぐみの赤くなる頃には、またぐみの木へ登つた。そのうちにいつとはなしに足が遠くなつた。やがて道路拡張でこの土手は崩され、私たちの遊び場はあとかたもなくなつてしまつた。

これに似たような記憶を、地方育ちの多くの人々がまだもつていることであろうと思う。人口の稠密な都会が発達するまでは、子どもの遊び場はどこにでもあつたものであるが、道路が拡げられ、家がたち、工場が設けられるにつれて、子どもの自由な天地であつた丘は削られて平になり、空地は堀をめぐらして出入できなくなり、子どもは遊び場を奪われていつたのである。東京都の区域内でも子どもが自由に遊び場とすることのできた場所はかなりあつたが、それは波に消される砂の丘のように次第に崩れてならされて行くのである。このようなことは心ずしも最近の都会の発達だけに見られるのではなく、城下町として早くから商業の発達した町人町では、道路をはさんで商人の家や倉庫がぎつり立ちならんでしまつたため、昔、武家が栄えた時代からすでに子供の遊び場は奪われてしまつているところもある。戦災にあわなかつた古い城下町でよく見かける風景である。

こうして遊び場をうばわれた子どもたちは家の前の道路や横の露路で遊ぶほかはないのである。子どもは遊び場を奪われることによって、その活動の範囲が狭まることになる。児童公園や児童遊園を与える活動は行われてこそ必要である。それにもかかわらず、社会の変遷とともに、子どもの遊び場は、大人の主として経済的な活動の犠牲となつて、子どもの手から奪いさられて行つた。年長の子どもならば、必要があれば遠くの運動場や、河原や公園まで空地を求めて移動することができるが、その距離にも限度がある。幼児となれば、わが家の前や近くの露路よりほかに行くべきところはない。こうして遊び場を失つた子どもたちは、その遊びの欲求を十分に満足することができずに、一方紙芝居や映画やペーパーマや、何か目の前にあつて興味をそそられて退屈しないものがあれば、それによつてその欲求をごまかすほかはない。ここに子どもの発達の上に一つの問題がある。

そこで、子どもに遊び場を与えよという親たちの関心や世人の注意がたまわり、現在は子どもから奪つた遊び場を子どもにかえしつつ、しかも、子どもの発達に必要な条件を十分にそなえてやろうとすることが社会の通念として動きつつある。これまで、子どもに児童公園や児童遊園を与える活動は行われてきたが、ただ子どもを喜ばすためというよりも感情的な基礎だけによるものであつた。現在では、遊び場がないということは、子どもたちの心身の発達を妨げ、児童の福祉を欠くというところから、社会施設として子どもの遊び場を設置するという考え方いかつていて、

だから、子どもの遊び場といふものは、どこでもよいから、ブランコやメリーゴーランドのある美しい公園があればよいのではなくて、子どもの日常生活の中に密接に結びついた遊び場でなくてはならないのである。それで、とくに大都会の下町や工場の人口の密集した地域では、児童公園や児童遊園の問題が重大なのである。

で公園に相当する施設がなかつたわけではなく、神社や寺の境内を開放して誰でも自由に出入はいりすることのできるようにしておくことが多かつたのであるが、公園の設置により、これが公共施設として確保されたわけである。

児童公園はどうかというと、伊藤清氏の「児童保護」（昭和十四年）には、明治六年から十五年までの間に創設されたものが一ヶ所あると記録されているから、おそらくどの公園かに児童遊園としての設備が加えられたのではないか。同書によれば、世界で児童公園が最初に設けられたのはドイツで、一八八五年にベルリンのある公園の一隅を劃して砂場を設けたのがそれだとあるが、察するに、日本に公園が設けられるようになつたのも先進国にならつてのことであろうから、この最初の児童公園も、必要があるから設けた

といふのではなく、外國に児童公園といふものがあるから、わが国でも試みに設けられたのである。というのは、そのころはまだ子どもの自然の遊び場もそれほどになくなつていなかつたろうと思われるからである。その後都市の膨脹は、遊び場のない子どもの住む

地域を非常に多くしており、児童公園の設置の必要も急に増加している。ところが設置された児童公園の数は、昭和六年までは全国でようやく二二九に過ぎず、昭和二十六年に至つても僅かに一四八〇を数えるありさまで、その後の二ヶ年は相当に子どもの遊び場の重要性が叫ばれ、空地を利用して、公立、私設いろいろに工夫して児童公園や遊び場が設けられているが、それでもなお、遊び場のない子どもが多く道路にいるのを見うけるのである。

子どもの行動半径は小さいから、その行動半径の外側にある公園は、いかに立派にできているものであつても、日常、その子どもたちに利用されるということはない。建設省で設けてある緑地計画基準によると、児童公園の誘致距離は、

#### 少年公園 ○・六キロメートル

幼兒公園 ○・五キロメートル  
○・二五キロメートル

#### ——四——

このように子どもの遊び場はぜひ必要である。これに対する関心は高まつて、公立によらず私設によらず、児童公園や児童遊園は着々と増加している。それにもかかわらず、道路や露路で遊ぶ子どもがへらずとのつた大きな児童公園が散在するよりは、

小じんまりした遊園が数多くばらまかれている方がのぞましい。このような数多くの公園を全部公共団体が公園として設置運営することは困難なので、小地域の人々の協力により空地や神社や寺の境内利用の遊び場設置の運動がさかんに行われてきている。児童福祉法による児童福祉施設の一種として児童厚生施設がとりいれられ、これに児童遊園が加えられているのは、公園というほどの設備がなくとも、とにかく公私いずれによろうとも子ども遊び場が設けられることを助長したいため、現在、設備費補助は認められていては認可があれば地租等が免除されると特典があることによつて、少しでもこの種の施設の普及がはかれているのである。

に利用されていないのはどういわけであるか。

一つには、公園や遊園が敷地難の関係から適地に設けられなかつたこともあるが、二つには公園や遊園に指導者が居ないために、子どもの遊びが組織的に持続されないということにある。公園にブランコやシーソーがあり砂場があつても、それだけでは子どもにとつては毎日ここに行つて遊ぶことが面白いといふことにはならない。そこで子どもを組織的に遊ばせるという工夫が必要である。池川清氏の「保育事業の經營と管理」によると米国の児童遊園は有給職員配置をしてあるが、英國ではおいていないという対照を見せノルウェイでは子どもの遊び場におばさんがいて、児童を預つて遊ばしてくれるやり方が発達しているといふ。

わが国でも東京都では、東京時代の昭和初年から指導員が各公園内にある児童遊園を巡回して、子どもの指導に当つたが、まだ子どもを組織的に扱うには至らなかつた。それが日比谷公園の児童遊園では、この遊園を足場にして児童を組織的に遊ばせる活動が行われている。日本児童遊園協会が運営す

る日比谷児童遊園がそれで、児童遊園内に約十坪ばかりの小舎があり、これと遊園を利用

して約四十人の児童を三人の保姆が毎日保育している。ここにくる児童は日比谷周辺の商家の子どもたちで、やはり遊び場を奪われている子どもたちであるが、この児童遊園といふ幼稚園に似た組織がなければ、日比谷公園へ毎日遊びにくることなく、やはりわが家の前の道路で遊ぶ子どもたちである。

現在、幼稚園の非常に少い日本では、公園や児童遊園をこの例のような形で、子どもの遊び場として十分に活用することは、児童問題に関心をもつ人々が、よく研究すべきことではないであろうか。児童公園や児童遊園内に小舎をたてて雨や風に備え、戸外の遊びを中心として児童の遊びの集団をつくり、一定のプログラムに従つて、毎日保姆がこれを指導することは、子どもたちの遊び場利用を促進し、有効にし、せつかくの公園や遊園の設備が宝の持ちぐされにならないことであり、また、幼稚園の不足を補つて、児童の教育に資するところが非常に大きいのであるまい

か。

(厚生事務官)

——あなたは何でも楽しむことが出来るように作られている  
あなたは利己的で

もしもあなたが

お天狗でないならば  
もしもあなたが

余りに貪慾でないならば

此の世界は

あなたが楽しむことの出来るものに充ちている

喜びに満ちている——

デヨン・ラスキン

# 夏の戸外遊び

—先生方の衛生のためにも—

平井信義



1

子供たちにとつては楽しい夏休みなのに、私ども医者にとつても保育経験の長い先生方にとって、悲しい思い出が沢山ありますのは本当に残念です。美智子ちゃんは痙攣で、たつた二日の思いで死んでしまった、朋子ちゃんも高熱とけいれんで日本脳炎という診断で矢張とうとういけなかつた。政雄君は近所のお兄さんと川に遊びにいつたが、姿が見えないと騒いだころには少し下流のところで死体となつて発見された——というような。或いは、二学期に幼稚園が始つてみたら、光二君は蒼白い顔をしている、一と夏下痢を繰返してしまつたという、一郎君は残暑の酷い頃に海へいつて日射病でまだねているといふ——元気な子供たちの姿を迎えようと思つてい

たのに可哀想な子供達の話はいつも夏にまつわりついています。若い先生方についての思出も蘇つてきます。林先生は一と夏食欲がなく、すつかり瘦せてあらわれました。三田先生もふだんいちのきたない方でないのに、下痢が続いたとかで、元氣のない顔をして子供たちを迎えました。今野先生は、海水浴にいつたあと熱がつかれてレントゲンを撮つてみたところ、左の肺に陰が出ていて、とうとう二度と幼稚園に姿を見せることが出来なくなつてしましました。子供たちにとつても、先生方にとっても、夏がなければと願うのは私だけでしょうか。高温、高湿の日本の夏は、丁度日本全体を蒸し風呂に変えてしまします。新陳代謝は衰えますし、肝臓での解毒機能も上手にいかなくなります。全身の器官殊に消化器は弱ります。一方、いろいろなばい菌の方は所を得たりと繁殖をはじめま

す。こんなですから、少し油断をしていると、すぐ病氣になつてしまします。

毎日々々元気なくごろごろしていた子供が、涼しい処へ連れていつただけで、蘇つたようになつたと、避暑先からお手紙をいたゞいたことも稀ではありません。

2

しかし、夏は子供の鍛錬によいときです。一と夏、裸ですごさせ皮ふを真黒に焼いておいたために、次の冬には一回も風邪を引かなかつたという子供も数多いことでしょう。蟬取りや水遊びで見違えるほど逞しくなつた子供もいます。健ちゃんは朝顔の世話で早起きをするようになつてから、寝起きのよい子供に変りました。山にいつてきました牧子ちゃんは、足が強くなつて、遠足にいつても泣き出さなくなりました。

本当に夏は、太陽に恵まれています。冬の長い北国では、ほんとうにうれしい夏です。子供の発育も、この夏がなければ余程変ると思われます。

したがつて、夏を上手に過す工夫をすることが何よりも大切です。このことは、先生方にとっても同じことです。切角の夏休みだからといって、じろじろしている方もありましょうし、大いに勉強

しようと暑いさかりを講習会に通われる方もありましょう。いずれにしても保健のための日課を立てることが肝心です。

何といつても朝の早起きはよいことです。三文の得どころではあります。夏の健康の基礎といつてもよいでしょう。子供たちには何かお手伝いをあてがうこと、先生方は読書をなさつてはいかがでしよう。夜更しの子供も、むしろ夜更したからこそ早起きをさせることをすゝめています。早起きをさせるようになつてから、夜しが止んだ子供が沢山おります。睡眠には朝方に熟睡するタイプがありますが、子供では少いと思われますし、むしろ朝寝をゆるしていると、それが条件反対になつていくのではないかと考えています。

早起きをすれば、それに伴つて朝飯も早くなり、先生方にとっては、午前中が非常に有効に使えます。母親たちも、朝飯の仕末を早くつけて、絵日記をみてやつたり、本を読んできかせる時間を持つことが出来ましょう。

だんだん日が強く照りつけてきます。蟬が鳴き始めます。そうなると子供たちはじつとしていられなくなります。外へ飛び出していくきます。そのときに、帽子を忘れずにかかる習慣をつけたいのです。その為には、玄関先で、子供の手がとゞき最も目につき易いところに、帽子掛を保つていただきたいことです。これは、お父さんが頼んでみましょう。子供の日射病を予防するために、お父さんが

一と役買つたわけです。

元気に戸外をかけ廻つてゐる子供は、お屋御飯さえも忘れることがあります。十一時近くなるとそろそろおながすいてきます。そこで十一時にお屋にしてはいかがでしよう。もち論、それまでの時間は、何も食べるものを与えてはなりません。ポケットにアメ類を入れてやることも感心しません。きたない手でそれを食べることは、おなかこわしの大きな原因となりましようから。

いま、我が国には赤痢、疫痢が猛威をふるつています。どこにばい菌がひそんでいて、我口の体内に侵入しようとしているかわからぬ程です。電車の吊革でも、到る処に太陽菌が証明されますから到るところに腸管からの排出物がついているわけになります。従つて、赤痢、疫痢の流行時には到るところにいるといつても過言ではないでしよう。赤痢は非文明病の一つです。赤痢の点では日本は六等国といえましよう。

国家でも赤痢蔓延を非常に心配して、いろいろ対策を立て、いまが、とゞのつまりは、国民の衛生思想が向上しなければだめだということになつてゐます。

ところが、日本人の食生活の規律のないことは情けない程です。客が来れば時間も構わずにお茶やお菓子を出す習慣——そんなことでごたごた時間を費し、心を使うよりも、もつと客とよい話をしても

心に文化財を得た方が得なのに、と思うことがしばしばです。

その巻添えをくつて、子供は時間でもないのにお菓子をもらいます。子供を喜ばせようと、どの客も子供たちにお菓子を買つてきては、時間もかまわらず、その子の健康状態もかまわらず、場所もかまわずに与えてしまいます。

子供はきたない手でお菓子をほうぱります。子供の手はきたないところでも平気でさわりますから、何がついているかわからません。最大の危険を犯しているわけです。

同じことが買喰いについても言えましよう。きたないお金を握つていつたその手にお菓子をもらいます。しかも、子供たちは栄養物を買ひ考へは全くありません。心す、長い時間遊びながら食べられるものを買つてきます。そして遊びながらたべるので。長く手にもつていればいる程、不潔になることは当然でしよう。さあ、赤痢、疫痢にかかるつてあげましようという態勢といえましよう。

時間をきめておやつを食べる習慣、しかも必ず手を洗つて食卓について食べる習慣を、子供につけていたゞきたいというのが私の念願です。買喰いはこの夏こそは禁止しましよう。子供をみたらお菓子を与える惡習もなくしたいものです。

先生方御自身も間食となると規律のない方があります。何の氣なしにおせんべいを机の上において、ぱりぱりやりながら本を読んで

おられる方もありましょが、時間正しくしようと思いながらも、その土地の習慣に圧されて、つい御自身が子供たちの手本にならなることをしてしまいます。田舎では、香の物を手の平にのせてくれるのが、好意ある歓迎の仕方になつていていますが、手についた醤油の行方はどこでしようか。子供等は手垢と共になめつくしていきます。

夏のお話から、話が横道にそれましたが、七月、八月が赤痢、疫

痢の猛威をふるうときなので、私どもの食生活の欠陥についてお話をしたのです。こんな非文明病で子供の命を奪われたら耐つたものではありません。先生方も下痢を起さぬよう、大人では赤痢がふつう下痢程度で終つてしまふことがしばしばですから御注意までに。

子供を海水浴に連れていきたいという親達も沢山あると思います

お父さんの休みを利用して、たつた一日二日、大急ぎで水浴びしていくといった具合が多いのですが、之はしばしば失敗を招きます。海岸の様に太陽光線が強く紫外線の多いところでは、ふだんそれに慣れていない子供は非常に疲労します。しかも、水浴びの興味にひかれて何度もくることが出来ないという未練もあつてついつい長時間をすごしてしまいます。海岸から帰りの電車や汽車の中では折重なつて寝入つている子供みると、哀れに感ずるのは私だけでしょうか。その晩から熱を出したり、食欲がなくなつたりする子供も稀ではありません。脳炎を誘発した子供もいます。

その位なら、庭先にタライを出して、日向水にして、その中で子供を遊ばせておいた方が、よほど避暑に適した営みといえましょう。私はその方を愛好します。もし、海岸について、その効果を期待するなら、長期間、少くとも三週間を必要とします。もし一日だけの日程なら、朝早く出かけて、午前中一杯できり上げてくる位の計画がのぞましいことです。

先生方も、平生あまり戸外を好かない方は、海岸にでも誘い出したい位ですが、矢張一日行程でお友達と行かれるならば、それが疲労を招かないよう、工夫をしていただきたい。もし、お友達が一日の充実した計画でなければ承知しないなら、どんなに疲労するかの実験をしていただきたいと思います。

疲労を防ぐ意味で、夏は昼寝することに決めましょ。あまり長いと、夜更しの原因となり、夜更しをしているとどうしてもだらしなくものを食べてしましますから三十分乃至一時間で起しましよう。起されると、はじめは不機嫌な子もいますが、次等になれると、バツと起きられるようになるものです。先生方も、殊に保育所の先生方も、椅子にもたれて、十分でもよいから目をつぶることを提案いたします。夏を上手に切り抜けると、間もなく、秋子供たちの健康に最もよい秋が来ます。食欲は増し、目方もふえる秋です。みなさんとのよい夏を祈っています。

# 教育白書にあらわされた幼稚園の現状

— 1 —

玉越三朗

本年二月“わが国教育の現状”が文部省から発表された。この発表の中には、幼稚園についても一章が設けられ、(1)幼稚園に入園している幼児数、(2)小学校入学者のうちの幼稚園修了者、(3)幼稚園に入園を希望している幼児数、(4)幼稚園の教員の数とその給与、(5)幼稚園の施設・設備、(6)幼稚園の財政、(7)保護者の負担、(8)幼稚園と保育所について述べられている。いまこれらのうち幼稚園の経費、幼稚園の普及の状態、施設設備の現状の三点について簡単に述べてみることとする。

## 1 幼稚園の経費

1 幼児一人に使われた経費 幼稚園で幼児一人に一年間に使われた費用は、平均四千五百十三円（昭和二十六年会計年度）である。これを国立、公立、私立別にみると国立五千八百四十六円、公立四千九百十四円、私立四千五十八円となる。（第一表参照）

この経費の内訳つまりこの経費がどんなことに使われたかということをみると、その全体の五一・七%の二千三百三十三円が教員の俸給その他の給与に、二二%の九百九十円が維持運営費に、一八・九%の八百五十三円が建築費に、二・七%の百二十一円が設備費に、残りの二百十三円がその他の経費に使われている。

これを国立、公立、私立別に比較してみると第二表のようになる。この表を見て感することは、(1)国立はその大部

手 当	兼務者の給与手当	その他の給与手当旅費	経常的維持運営費	新営および工事費	臨時設備費	その他の経費
10,694,226	27,816,536	239,406,156	205,066,734	29,824,461	50,789,305	
6,090	728,950	2,924,390	753,899	181,000	18,179	
—	24,350	565,102	—	—	—	
2,419,525	16,452,728	116,983,681	82,294,741	8,339,666	27,382,768	
7,668,611	10,610,508	118,932,983	122,018,094	21,303,795	23,388,358	

(文部省指定統計昭和26年度)

分(七六・九%)が教員給に使われて、建築費、設備費には殆んど使われていないこと。  
(2)私立は教員給には僅かに四八・四%しか使わないで建築費、設備費に比較的金を使つてゐること。(3)設備費は国立、公立、私立とも

区分	教員給	維持運営費	建築費	設備費	その他
平均	51.7	22.0	18.9	2.7	4.7
国立	76.9	17.4	4.5	1.1	0.1
都道府県立	67.0	33.0	—	—	—
市町村立	54.4	22.7	16.0	1.6	5.3
私立	48.4	21.5	22.0	3.9	4.2

殆んど使つていないことである。(施設、設備の状態参照)

なお、公立幼稚園については、地方教育費調査の中間報告が掲げられているので、この調査の幼稚一人当たりの経費について述べてみ

この表によると、最高は鳥取県の一万二百

よう。この調査によると、幼児一人について昭和二十七年度には六千六百九十九円使つてゐる。(小学校は一万二百円であるからその六割五分に當る)その内訳をみると、教員給や維持費に五千五百三十二円、土地、建物等の費用に千百五十八円である(第三表参照)いまそのうちの教員給や維持費等の消費的支出について、都道府県別にみてみると第四表のようになる。

第3表 幼稚園費の内訳と単位経費

区分	金額	単位経費
総額	1,054,946千円	6,699円
A 消費的支出	871,123	5,582
1. 教授費	646,831	4,107
2. 維持費	94,179	589
3. 修繕費	45,388	288
4. 補助金	30,467	194
B 所資	55,669	355
1. 土地	182,390	1,158
2. 建築費	12,522	80
3. 設備費	85,163	541
4. 図書費	80,785	513
C 債務償還費	3,920	24
	725	5

(地方教育費の調査中間報告27会計年度)

第1表 幼稚園の経費

区分	総額	教職員の給与				
		計	本務者		勤務地手当	その他の諸手当
			俸給	扶養手当		
計	1,087,072,711	561,986,055	457,566,097	29,687,343	36,821,853	
国立	16,777,768	12,900,300	8,342,526	2,797,111	1,025,623	
都道府県立	1,711,506	1,146,404	930,048	151,099	40,907	
市町村立	514,985,776	279,984,920	221,659,055	16,269,976	23,183,636	
私立	553,597,661	267,954,431	226,634,468	10,469,157	12,571,687	

十五円で最低は山梨県の二千四百九十二円で  
その差は甚しい。このような差の甚しいこと  
は他の学校にはみられないことで、幼稚園の

## 2 使つた費用の財源

幼稚園で使つた

所在地の地方差の甚しいこととともに幼稚園  
に特に目立つことである。

第4表 幼児一人当たり消費的経費

区分	幼児一人 当り費用	順位	区分	幼児一人 当り費用	順位
平均	5,536円		24. 三重	4,722	22
1. 北海道	7,697	6	25. 滋賀	5,943	12
2. 青森	5,526	15	26. 京都	7,263	8
3. 岩手	3,984	31	27. 大阪	9,097	3
4. 宮城	4,655	23	28. 兵庫	5,722	13
5. 秋田	2,587	40	29. 奈良	6,112	11
6. 山形	—	—	30. 和歌山	4,616	24
7. 福島	5,535	14	31. 鳥取	10,215	1
8. 茨城	4,572	26	32. 島根	3,967	32
9. 栃木	—	—	33. 岡山	4,096	29
10. 群馬	4,877	17	34. 広島	3,741	34
11. 埼玉	2,603	39	35. 山口	9,416	2
12. 千葉	4,135	28	36. 徳島	3,679	35
13. 東京	9,087	4	37. 香川	3,485	36
14. 神奈川	4,847	18	38. 愛媛	3,986	30
15. 新潟	4,301	27	39. 高知	—	—
16. 富山	4,885	19	40. 福岡	7,075	9
17. 石川	3,938	33	41. 佐賀	8,965	5
18. 福井	3,024	38	42. 長崎	4,729	21
19. 山梨	2,492	41	43. 熊本	5,474	16
20. 長野	7,653	7	44. 大分	4,596	25
21. 岐阜	3,115	37	45. 宮崎	—	—
22. 静岡	4,826	20	46. 鹿児島	—	—
23. 愛知	6,126	10			

基本財産 収入	保育園 料	設置者負担	借入金	その他の 収入	繰越金
5,315,160	533,062,892	467,396,182	33,284,398	16,164,736	15,980,731
—	2,130,361	14,156,664	—	24,842	—
—	79,810	1,631,696	—	—	—
2,682,421	136,808,505	367,907,548	1,895,280	1,893,571	7,547,959
2,682,739	394,044,216	83,700,274	31,339,168	14,246,323	8,432,772

(文部省指定統計昭和26年度)

費用の財源をみると、国立は設置者である国がその費用の全体の八四・四%（千四百十五万六千円を負担し、他は保育料（一二・七%の二百十三万円）寄付金（〇・八%の四十六万五千円））その他の収入でまかなつてある。公立幼稚園のうち市町村立は全体の七〇・七%に当る三億六千七百九十万七千円を市町村が負担し、他は保育料（二六・二%の一億三千六百八十万八千円）寄付金、借入金、基本財産収入、起債、国庫支出金、都道府県支出金、その他の収入でまかなつてある。都道府県負担（九五・三%百六十三万一千円）と保育料（四・七%七万九千円）でまかなつてある。私立は保育料（七〇・一%の三億九千四百四十万四千円）設置者負担（一四・九%の八千三百七十万円）借入金（三千百三十三万九千円）寄付金（三千百二十三万九千円）都道府県支出金、市町村支出金、その他の収入でまかなつてある。（第五表参照）

なお、さきに述べた公立幼稚園における地方教育費調査によると、第六表のような財源になつてゐる。

以上の結果から財源をみると、公立幼稚園の負担は大体設置者が七割、保護者が三割で

第6表 公立幼稚園の財源

区分	総額	借入金・寄付金以外の公費				借入金	寄付金
		公費合計	国庫補助	都道府県支出金	市町村支出		
金額	千円 1,054,946	917,131	1,536	36,484	879,111	3,048	184,767
百分率	% 100.00	86.94	0.15	3.46	83.33	0.29	12,77

(地方教育費の調査中間報告27会計年度)

あり、私立幼稚園は保護者が七割五分、設置者が二割五分であるといふことになる。(これが幼稚園経営の望ましい姿であるといふことになる。)これが幼稚園教育発展のためにはなお多くの問題がこの経費面にも伏在しているといふことができる。)

(文部事務官)  
(つづく)

第5表 幼稚園の財源

区分	総額	国庫支出金	都道府県支出金	市町村支出金	起債	寄附金
計	1,103,053,442	353,500	2,632,323	2,883,114	553,870	41,457,767
国立	16,777,768	—	—	—	—	465,901
公立	1,711,506	—	—	—	—	—
都道府県立	522,533,735	353,500	759,761	—	480,970	9,752,229
市町村立	562,030,433	—	1,872,562	2,883,114	72,400	31,239,637
私立	—	—	—	—	—	—

# 飢えの慾望と精神衛生

（1）



加藤常吉

まえがき

有機体である人の身体が「飢え」を覚えたときには、これが満たされなければならないことは言うまでもないことである。ところが人間は正常に満たされない状態にあるときは、これからうける影響は極めて大きい、それは、ただに身体に与える影響だけでなくして精神に与える影響が亦大きいといふわけである。本稿では、主として幼児期に於て、正常に満たされない「飢え」が幼児の性格また人格形成にどんな影響を与えていけるかを考察していきたい。

「ツ」と叱りつけられ、その子は「ワーツ」と泣き出すであろうし、それと反対に目を細くして「いらないないばアー」をしてやれば、その子は、ニヤーと笑うにちがいない。これは明らかに、同じ子供が、周囲の事情に基いて異つた感情を呼び起している事実を物語っているものである。

I 生理が原因となる感性現象 ところが、右に述べた事情と反対に、人間の内的条件如何が、人間にある種の感情を呼び起してゆくことのあることも亦事実である。そのよい例を「飢え」についてみることができる。たとえば、極く簡単な例は、赤子が空腹になれば火のつくよう泣く。空腹の赤子を背負つた母親が、どんなに深い愛情をもつて「ほらよしよし」と言って、あやしてやつても、また寝かしつけようとしても、その赤子は泣き止まない。或はこの現象を調節力のない赤字だから泣くのだ、というかも知れないが、大人見る例である。例えば、幼い児に、母親が目をつるし上げて「めー

## 1 生理と感性

人間の感情が、生活環境の影響をうけて、起つてくるのは、多く見る例である。例えば、幼い児に、母親が目をつるし上げて「めー

であつても大体同じことである。わたくしは、東都の雑踏の乗換場で知られている国鉄の秋葉原駅を毎日目撃している。あのような雑踏の巷であるが、朝は不思議と喧嘩は起らない。けれども、夕刻は乗客の間に二つや三つ喧嘩の起らないためではない。こんなとき、面白いことに、申し合せたように、腰の窓のベンとう箱がカタン、コトンと音をたてている。

一体、窓腹になると、人間はなぜ、泣きたくなったり、怒りたくなるのであらうか。これは、不安の感情がただよつているからであると答えよう。如何にもその通りである。それならば「不安感」というものの本体は何であろうか。言うまでもなく、「不安感」とは窓腹時に、胃の粘膜に通う神経がはたらきを起して、意識となつて表れるものであるが、身体を有機体としてがめるときに、これはその活動に伴つて均衡が破られている状態を、回復させようとする要求に基いて起る生活現象であるといふことができる。いわば、これは有機体保全のための赤信号の役をしているとも言えるわけである。である故に、これは調整、つまり要求が満たされて解決されなければならないものと言ふべきである。

そこで、ここで問題になるのは「不安感はただ不安感に止つておるものではなくして、附隨的精神現象（感性、意思、思考などの）を生んでゆくといふ事である。このことについては、後の項で述べることとしよう。

II 感性が原因する生理現象 次に、Iの項と反対に、感性が原因となつて、生理性に影響を与える例のあることに目をとどめよう。つまり、人間が怒つたり、恐怖を抱いたりする場合がそれで、身体

にどのような現象がみられるかといふと、先ず、

(1) 分泌腺—唾液が出なくなる（従つて、口中がかわく）胃液が分泌しなくなる、汗腺が活動しだす（従つて、汗をかく）副腎からアドリナリンを血液に分泌する。

(2) 呼吸器系統—呼吸は荒くなる

(3) 排泄系統—膀胱は収縮するので尿意を催す。

(4) 消化器系—活動が停止する。特に、異常な「飢え」の慾望を理解するのに、この現象は大切な条件となる。すなわち、正常の場合は、胃には約二〇秒を要して、噴門部から幽門部に向つてはたらきかける蠕動がある。ところが、人間が怒ると、この活動が全く停止してしまう。わたくしは遊學中、大学で猫について実験をしたことがある。それは、静かな状態にある猫に、ペニーの銅貨を嚥下させる。そして、この猫の銅貨は胃の活動と共にうごくのがよく判る。次にこの猫に犬をけしかける。猫は背を丸くしてフウフウ声をたてる。このとき、猫を再び透視する。すると、どうであろう。今まで動いていた銅貨はピタリと止つてしまつてゐる。言うまでもなく、驚きのために、猫の胃の活動が止つてしまつたことの意味する。この銅貨もまた静かに動き出してきた。その時は二十三三分後であつた。このとき猫の恐怖がだんだんと去つていつたことを物語るものである。

しかし、ここで心に留めたいことは、怒りが単に生理活動に影響するだけでなく、健康そのものに大きな影響を与えるということである。よく幼稚園の園児をながめて、気づくことであるが、家庭の経済事情から言ふと、食物の条件が良い筈でありながら、栄養状態

が甚だ悪い。つまり、やせていて氣力のない子供がいる。そして、更に気づくことは、この種の子供に限つて、神経質的特徴を表している。それは、何時もイライラしていて怒り易い子供である。実は、この何時もイライラして怒り易いこと、これが前述したように、生理、特に胃の活動を停止さす原因となり、消化不良を招いているのである。

## 2 異常な「飢え」と社会の不適応行為

前の項で、わたくし共は、飢えにともなり感情また生理活動は、人間の身体内部で複雑な作用を起すということを知つた。しかし、私共が更に問題にしなければならないことは、これらが人間の内部現象に終るのではなくして、社会生活と深い結びつきをもつということである。たとえば、前述の幼稚園で目撃されるやせて氣力のない子供について言えば、怒らなくてよいような事柄に腹をたて、人にハツ当りをし、我が儘を振舞う。そして、集団生活が容易にできないのが常套である。これを少しく整えて言うと、この種の子供の(1)感性は不安定である。つまり、些細なことに怒り、悲しみ、激する。であるから、家庭内では、母親や兄弟の手をやかせる子供である。永泣きをやり、シツコイ、そしてハツ当りをする。女中などをドナリ散らす。社会生活では、何時もイジメられて「ワーツ」と泣いて家に帰つてくる子供である。

(2)意志は極めて薄弱である。朝目が醒めても、いつまでも布団から離れようとしない。特に、冬期のように外部から寒さの抵抗が加わるような時期にそうである。起きるには条件づきで、シャツ

をあたためてくれ、ズボンをあたためてくれ、洗面器にお湯をとつてくれと注文する。夜などは、便所には到底一人では行けない。(4)思考についていえば、統一が欠けている。であるから、前後の連絡にまで気をくばつて、最後まで興味多く物語りに耳を傾けようとはしない。遊びにしても、思考をねらなければならないようない用具の類であると、中途で放棄してしまう。

(2)社会生活では、全く孤独である。それは、性格が快活でないだけでなく、他人によろこばれるような行為ーたとえば、愉快な遊びを提案したり、弱い者をかばつてやるようなーが全くないからである。自己中心主義も、この種の子供の特長の一つである。社会生活に於ても自分以外に考えられない。自分に少しでも好感をもつている友人がいて、彼が自分に好意を向けている間は満足を感じているが、一度他人に好意を示すようなことがあれば、彼が対して非常な嫉妬を覚える。且つ彼が対して他人に対する以上の悪感を抱くようになる。好き、嫌いの感じが強くはたらくのも、この種の子供の性格の特徴である。好きな者に対するは、無げに好きな感情がはたらき嫌な者に対するは、これまた極端な嫌悪の情がはたらく。

右に述べたような、異常な「飢え」の満たし方から起る、精神活動のみだれ、また社会生活の不適応行為を起す子供とは、貧しい生活環境よりは概して富める生活環境、手のない家庭よりは、独り児のように、世話の行き届く環境に多く見出されるものである。エール大学のゲゼールの担当する施設である Yale Clinic of Child Development は、この の生理欲求の異常児の心理臨床指導所として有名である。

### 3 「飢え」の不適応行為と調整法

幼児期には、「飢え」のさまざまな不適応行為を生むものである。これらについての原因と、調整法とを極く簡単に述べよう。このことは「飢え」慾望から起くる異常児に早期の治療対策になり大切である。

#### (1) 食べるのに気むづかしい

子供によつては、食べるときに何か難くせをつけるものがいる。あるときは卵でなければ食べないと、又あるときは魚でなければ食べないと、いうように、この種の不適応行為は、自己中心主義、主としてそれが甘やかしからくるものである。故に、富裕な家庭、手の有り余る家庭の子供に多くみられる。

調整法としては、この種の子供は食慾は正常であるから健康を気にする必要はない。要は、自己中心主義から我儘を矯めることで、与えたものを食べなかつたときは、サッサと食卓をかたづけてしまうこと、食べなかつたからと言つて、子供の機嫌などを絶対にとらないことである。そして、自らに我儘を気づかさせる。

#### (2) 不規則な時間に現れる食欲

時ならない時に、食事をとりたがるものがある。この種の食生活を経て育つた子供は、社会生活の面では、放従、怠惰、無責任などの行為が表れる。この種の子供の不適応の食生活の原因には、二点があげられる。その一つは三度の食事の量がムラであることであり、その一つは、間食の時間が定つておらず、且つその量が不定であること。言わば、のべつ幕なしに口をうごかしている子供である。生

理の上からは、唾液や胃液の分泌が悪く、消化不良であり、従つてやせて顔色が悪い。

調整法は、極めて明確である。すなわち、一日に摂るべき食物の量を先ず定め、これを三分して、三度の食事に当てる。そして、従来の消化器の活動のみだれを、正常にとり戻すことである。間食は、余程空腹のときだけ、控目に許すべきである。

#### (3) 食物を口に入れて嚥み込まない、悪戯している、食べるのを拒む

子供によつては、食物を口に入れて、いつまでも嚥み込まなかつたり、茶碗の縁を箸でたたいてみたり、幼い子供であると、茶碗から食物をつかみ出したりしだすものがいる。これらの不適応行為は、その表の方は区々であつても、性質は全く同じものである。すなわち、生理活動にもとづいて、「飢え」の慾望が順調に営まれていなければならない。生理活動のうち、最も大きな原因是身体運動が不活発であるのが目立つ。一日中室内に閉じ籠つているような子供、或は遊びが静的であるような子供である。事実、この種の子供は行動が多くものぐさで、身体を余り動かさうとはしない。

調整法としては、身体運動の指導を十分にはかること、努めて、戸外の活潑な遊びをすすめること、遊具なども努めて動的なものを与えるように、計ることなどである。食物に十分な関心を起させるためにには、内容や配合などにも留意するのがよい。

#### (4) 偏食

子供の偏食の原因には、さまざまあるが、その主なものは、次のようにある。

(a) 特に動機のあるもの　たとえば、うどんを嫌い出した原因が、蛔虫そつくりそのままであつたのを経験して以来、それを食べないようになつたといふように。

(b) 体質からくるもの　わさび漬、梅干のような刺戟性のものを好む子供(神経質)天ぷら、魚、肉類、バターのような脂肪性のものを好む者(多血質)また甘いものを好むもの

(c) 生理的に禍するもの　一度食物の中毒を経験すると、その食物はその者にとつて生理的に中毒症状を引き起す。わたくしは、鰯の刺身で中毒して以来、どのように新しいものを食べても、中毒症状を起す。以来鰯の刺身が嫌となつた。

(d) 環境からくるもの　例えば、海岸で育つた者が、魚にかたより、大陸に育つたものが鶏肉にかたより、田園のものが野菜にかたよるようだ。

(e) 親からくるもの　要するに、食べものに甘やかして育て上げたものである。これには独り児や、病弱であつたために禍していることがある。

偏食が発育してゆく子供に与える影響は、ここにちようちようする必要はない。一言に尽くせば、栄養の障害を招き、発育を阻害し病氣に抵抗力を欠く。また、性格的にも偏つてゆく、神経質の子供は一層神経質的持ちようを表してゆくようだ。

調整法としては、前述のうち生理的に禍するものについて言えば中毒症状を起す、物理的また病理学的研究も必要であり、一般の方で嘔むことはできない。暗示法なども考えられようが、個々の実性をよく考慮すべき要がある。

偏食の一般的調整の方法として考えられるのは、消極的と積極的の二面をあげることができる。消極面から言えば、嫌な食べものの調理法を変えることがあげられる。たとえば、人参の嫌な子供には、それを摺りつぶして、揚げものにして与えるように。集団の訓練も効果をあげる。「子供は友育ち」とは、よく言われるが、家庭内では食べなくとも、遊び仲間と一緒にすれば食べる。これは友だち同志の生活の興味から、つり込まれて食べるようになるからである。積極面で挙げられるものは、子供が食べるまで、嫌うものを与えることである。元来、偏食は子供の我儘からきている例が非常に多い。そして、この種の子供は、身体が虚弱である。これが親に不憫の情を起させ、子供を一層偏食に追込む。もし、親が太ツ腹になり、子供に甘える余地を与えないならば、子供の空腹は必ず彼の目前に提供されたものを食べるものである。

#### 4 「飢え」と鍊成教育

日本の国家環境で、注意をしたいものに、鍊成教育がある。鍊成教育とは、戦時流行したもので、今日は関係ないもののように考へるが、これは大きな誤である。戦時中は軍の指令によつて、教育は「鍊成」をとり入れ生理条件、特に栄養の条件をととのえずして、意志に筋金を入れようとした訓練を施した。読者は、戦争末期の国民の栄養状態がどのようであつたかを、思い起すことができるであろう。「ゾオ炊」と「芋粥」が国民の主食であつた。その栄養下の国民は、嚴寒四時起きの神社参拝、竹槍の訓練を強いられ、また学生に、半身裸体で「ワツシヨワツシヨ」のかけ足を強いた。栄養

失調の国民が、意氣を鈍らせ、活動力を失つたのは当然のことである。

もし、国民の意志を鍛錬し、活動力を豊かにしようとするならば、これらを保証するのに、先ず栄養条件をととのえなければならぬ。日本の鍛成教育は最も非科学的であると言わざるを得ない。初代ベルシヤの教育をみると、国民の身心を鍛えるために「粗食に馴らさせる」という一条がある。しかし、問題はこの粗食にあると言わなければならない。これが美食を讃め、飽食を警戒する意味であるならば、学ぶところあるが、子供の場合、発育と保健に必要な栄養を事欠く訓練であるならば、これは危険であると言わなければならぬ。なぜならば、非科学の教育とは、その結果に於て非常に憂えるものがあるからである。その憂えるところとは、啻に個人生活に止るだけでなく、国家社会の損失が含まれ、國家の存亡さえ危くすると言わざるを得ないからである。曾て、我々は「日の丸」弁当ということを口にした。これを口にする者の得意さは、国民としての食糧の経済と、愛国心の象徴であつたろう。第一の食糧の経済といふ点を批評するならば、偏した食糧は健康を阻害する要因をはらんでおると言わざるを得ない。これは個人の不幸であるのみならず、惹いて国家社会の不幸となる。第二の愛国心の象徴について考えてみると、この種の精神を以て愛国者という考へは、竹槍をもつて武装した国民が原子力兵器をもつ国家に得々して、立向う考へと全く一致している。これこそ国家を破滅に導く第一歩と言わざるを得ない。というのは、このような非科学性が国民生活に潜在していることが科学の前に無知の行動を敢て生む恐ろしさがあるからである。

## 書評 新刊「幼児の心理」

波多野勤子著

こどもと一緒に生活するものの心の準備は、そのことをよく知つてゐる、ということであろうと思われる。幼稚園でも、保育所でも、家庭でも、どのすべての場でも皆同様である。

こどもをよく知つているということは、こどもの成長発達のそれぞれの段階をよく理解していることである。この心の準備のある大人と一緒に遊ぶこどもは、幸なほどもであつて、無理のない生活が楽しくづけられていく。同時に大人も亦、常に平らな気持で、まだを少くして、こどもと一緒に遊ぶことが出来る。

波多野勤子さんの新著「幼児の心理」これこそこどもをよく知る唯一最適のものと思われる。著者は心理学者としての豊かな学識と、四人のお子さんの母親としてのあふれる愛情と、その経験、この三つのもち主である。この書の真ごとにその三つがこん然とにじみ出て、読むものをして、そのあたたかい愛情につつまれながら幼児心理学の学識が次第に植えつけられていくのが覚えられる

お茶の水女子大学附属幼稚園長  
及川みみ

書評

## キンダーまつり

—大阪市中央公会堂にて—

口  
面  
正  
堂  
金  
公  
入

京都民生局の御後援を得て、多数のお子さまの方の御参會を得ることが出来ましたが今回第二回のキンダーまつりも、大阪府、並びに大阪市の御後援を得、こゝに再び盛んな「おまつり」を催すことが出来ましたことを深く感謝申し上げます。

この日、あいにく雨に見舞われたにも拘らず、会場には溢れるばかりの小さなお客様、先生、お母様やその他多数の方々をお招き出来ましたことを何よりも嬉しく存じております。

昨年と同様、N.H.K.うたのおばさん安西愛子先生の独唱、指導による数々の歌児童芸術研究所の方々による影絵芝居「文福茶釜」同研究所の多数児童による舞踊、その他映画等々の催物に、お集まり下さいましたお客様方



NHK安西愛子さん



大阪市中央公会堂

弊社では去る五月三日、大阪市中央公会堂において、第二回キンダーまつりを行いました。一昨年、東京神田共立講堂において第一回のキンダーまつりを行いましたときも、東京都民生局の御後援を得て、多数のお子さまの方の御参會を得ることが出来ましたが今回第二回のキンダーまつりも、大阪府、並びに大阪市の御後援を得、こゝに再び盛んな「おまつり」を催すことが出来ましたことを深く感謝申し上げます。

この日、あいにく雨に見舞われたにも拘らず、会場には溢れるばかりの小さなお客様、先生、お母様やその他の多くの方々をお招き出来ましたことを何よりも嬉しく存じております。なお、弊社は今後も引続き各地で、「お子さまのための楽しいつどい」キンダーまつりを開催し、全国のお子さま方とお友達になりたいと考えております。何とぞ御支援下さいますよう御願い申し上げます。

舞

踊

フレーベル館



こ  
の  
子  
供  
た  
ち  
(11)



イーディス・ウォートン作  
松原至大譯

二人の女性

ジュディスは、子供たちの話になると、夢中になつた。とりわけ、テリーのことを、できるだけよく説明した。それというのも、セラーズが、しっかりした人であることが、はつきりしてきたからであつた——テリーと同じように。

テリーの運の悪い、もう一つのことについて、ジュディスは細かに語つた。両親にせがんで、やつと家庭教師が見つかって、万事が順調に運ぼうとしたら、ジョイスがその教師と結婚するなどといい出した。テリーにとって、こんなひどい不運というものが、またとあるかと言つた。

もつともだと、セラーズは言つた。だが、ボインはセラーズの唇の格好を見て、「不運」という名詞は、この

際使うのに当らないし、また「ひどい」という形容詞も、妥当なものではないと思つてゐることを見てとつた。

「でも、それは、一時の気まぐれに過ぎませんわ、おかあさまの。いくらおかあさまでも、その若い方と結婚なさつて、なにもかも台なしになさることはなさじますまへ」

ジュディスの目が、見開かれた。

「でも、母はどうしましよう——もし、あの人を恋してゐるとしたら」

セラーズは、静かに目を閉じた。

「でも、おかあさまは、きいと、きいと、あなたのことをお考えになりますよ」

「ええ、そうなのです。もう、そうなのです。母と父は、今も私たちのことで争つてゐます。私たちが家出をしたのも、そのためです。マーティンさんは、お話しになりませんか」

「きいとあなたの口から、お話しになる方がよいと、お思いになつたのでしよう。あなたが、お話なさりたいとお思いになつただけを」セラーズは、巧に言つた。

ジュディスは、額に八の字をよせた。

「ほかになにか、お話することがありますようか。私たちは、離れ離れにされるのがいやで、皆を連れてきました。お互が氣をつけあわなければ、だれが面倒を見てくれましよう。父と母は、自分たちの始末がつかないので、ですから、頼みになりません」

「まあ、おかわいそうに」こう言って、セラーズは、思わずジュディスの手をとつた。

「今あなたがあつしゃつた通りに、おかあさまに申し上げて御らんなさい。そうなれば、きいとおかあさまは、あなた方を、だれの手にもお渡しになりますまい」

ジュディスの八の字は解けて、不安そうに眉があがった。

「以前は母も、そうでした。でも今は、恋をしているのです、どうなりましょう。恋だけは、私、したくないと思います。おまけに、じきに子供が生れるんですもの。あなたには、お子さんがございませんねえ」

セラーズは、かすかにないという合図をした。

「まだ遅過ぎはしません。でもあなたが、もし私たち金部と、三人の義理の子までお持ちとしましたら、多分今度のことは、無理もないと思いまります。母は、私たちを嫌うわけではありません——ただ、心のあらしが起つてゐるのです。お友だちのドール・ウェストウェインさんは、いつもそう言つていました。そしてあの人はこういふことを——」

セラーズは、コーヒーをかきまわしていたスプーンをおいた。

「ドール・ウェストウェイ」

ジュディスの顔は輝いた。

「御存じ」

「じいえ」とセラーズは、きつく拒むように言った。それは、ボインにとって馴染みの深いものであつたが、この少女には、氣のつかない表情であった。

「その方は、私の大の仲よし、あんなかわいい人はありません。濃いばら色の海水着を着て——」

「ねえ」と、セラーズはさきぎつた。「こんなよいお天気に、お家にいてはまりません。コーヒーがすみましたら、バルコニーに出てみましよう。マーティンさん。シガレット、ござります。」セラーズの優しさの中には銀の水のようなものがあった。ジュディスはびっくりして、後につづいた。ボインは、一生懸命にシガレットを

配給した。「なにか、気にさわったことでもあるのかな」と思いながら。

### 捜索の電報

だが、座の白けたのも、ほんの少しの間であった。青いヴェールをしたナースが、血色のよい小さな男の子を連れて、バルコニーの下のスロープを登つてくるのを見ると、またもとのようになぎやかになった。

「ああら、ここよ。ここにいるわ」ジュディスはうれしそうに、その二人に合図をした。セラーズは、手すりにのり出して、元気についた。

「まあ、おかわりのこと。チップさんね」

いかにも、ここにチップストンが現われるようになつたのは、ジュディスの利口なところであつた。子供のない婦人にとって、この健康と上きげんとの一かかえの見ものは、心の痛みの種であると共に、また鎮痛剤ともいえるにちがいない。セラーズの目が、笑つたり、まごついたりしているボインの目と出会つた。チップストンは、いつもの朗らかさで、その場をいっぱいにしてくる。一同は、チップストンにあいそをするために、もとの居間にはいった。たちまちセラーズの膝にのつて、仮さまのように、ジュディスや、ボインや、ナニーたちが、自分を拝むようにしているのを、うれしそうに見て笑つていた。どんなものでも、チップストンの前に出ると、あわの立つた新しいミルクのように、新鮮なものになつた。

「ええ、そりや、チップはよい子ですわ。でも、テリーにお会い下さるまで、お待ち下さいね」ジュディスがおどけていた。

「テリーはこられなかつたの。でも、ほかのものは、みんな来てよ」とびらの外で、小さな鋭い声が聞こえた。

「まあ、ジニーじゃないの」ジュディスが、むつとしていた。とびらが、ひとりでに開いて、ジュディスの義理の妹が現われた。そのくしゃくしゃした赤毛頭の後には、バンとビーチーの黒い、おかっぱの頭が見えた。

「はい、決して、私ではございません。スザンは、決して皆さんを、こちらへよこしはしないと、私に誓ったのでございますが」付きそつてきたナニーはジュディスににらまれて、こういいわけをした。

「スザンのせいでもないわ」と、ジニーは、落ちつきはらつていった。「スザンは、ずっと私たちの番をしていたんだけれど、私たちの足の方が早いのよ。だって、スザンは靴すれが、できてるんですもの。それで追いかけるのをやめちゃったのよ。そうだねえ」こういって、後を見て、「まま子たち」に、賛成を求めた。

だが、この時、バンは、宙返りをして、部屋のまん中に出ていた。そこで頭を下にして、むきだしの脛と、上靴の裏を、空に見せていた。ビーチは、セラーズのそばにとんで行って、チップストンを力まかせにかかえて、うれし泣きをした。チップは、ばら色の笑い顔で、その詩を聞いていた。

「そうよ。ジュディスが、こっそりきてしまって、私たちを、おいてきぼりにしたからいけないんだわ。チップだけ連れてくるなんて、一番小さいのに、いけないじゃないの」ジニーは、セラーズに訴えた。

セラーズは、それはたしかにいけないことだけれど、みんなは食堂にはいりきれないものだから、招待しなかつたので、こんなせまい家にいる自分もいけないと答えた。「そういうわけで、チップストンさんが、皆さんの代表に選ばれたのですよ。場所をとらないから」と、上手にいいきかせた。

「ちがう、場所をとらないのは、ぼくですよ」バンが、けんか腰で、セラーズの前に出た。「ぼく、クロッケーの輪だつてくれるぜ。それから——」

「あなた方は、おしゃべりをしないではおられないのに、チップは、おとなしくしていますよ。だから私は、チップを連れてきたのよ」ジュディスは、パンにぎつきを与えるながら言った。ナニーは、ビーチーがパンに同情して、泣き出しそうになるのをとめた。

「まあ、困った子供たちね」と、戸口のところで、別の声がした。今度のは、いかにも分別のある、いかにもやさしく、とめる声だった。セラーズは、自分と同じように、騒ぐ子供にはなれないお客だと思って、急いで出むかえた。

「ほんとに、困りますね」こういつてはいつてきたのは、ブランカであった。細つそりとして、白い服を着た落ちついた様子は、ジュディスが、その妹のように思えた。

「ナニーが、チップちゃんを連れて行くのを見つけると、みんながとび出しましたと、スザンがいうものですから、私、すぐ後を追いかけました。でも、つかまえられませんでした。御免なさい」息をきりながら、ジュディスにいいわけをした。その長いまつ毛が動いて、セラーズとボインの方をうかがっていた。

「マーティンさん」ブランカは、母親の様子の一つをそのまま真似て、ボインに会釈をした。それから「私はテリーと双子でございます」とセラーズに説明した。

セラーズは、いつものやさしさで、テリーさんが来られないでの、こんなに美しい代理の方をよこして下さって有りがたいといった。ジュディスは、ボインを見て、ちょっとといやな顔をした。ブランカは、それにもかまわず、

「あら。でも、テリーにお会い下されば、ほかのものをかまわなくなりましょう」と真剣にいった。

「ちがうよ。おばさまは別だい。おばさまは、ぼくとビーチーが好きだよ。ぼくたち、ヨーマの公爵だもの」

ジュディスがとめるのもかまわず、とんぼがえりをしそうになつて、パンが、こういつた。

ジニーは、パンを押しのけて、セラーズの前に出た。

「私のおかあさんは、私たちをお金で引きとろうと思えば、できるのよ。映画のスターですもの」うすつぺらな、からかい声で続けた。「でも、私がさせないの。だって、みんな仲よしですもの。それにジュディスが、スコープの本にかけて、私たちが結婚するまでは、みんないっしょにいるようにって誓わせたのよ。私は、多分バーンと結婚するでしよう。」

これを聞くと、ビーチーの顔に失望の色が見えた。だがパンは、興奮した様子をそらして言った。

「ほくのほんとうのおかあさんは、ライオン使いだった。でも、つまんない。死んでしまったんだもの。」

セラーズは、折を見て、気分転換を試みた。ゲーム、お茶、それからまたゲームと、目先をかえて行くその巧みさは、いつもかの女を社交上の優越者としていた。この日も夕方近くになると、眠くなつた子供たちは、満足してローゼングリューへ帰つて行つた。山荘の入口で、ジニーはバルコニーの方に、

「私たちの来ることが、初めからわかつていたら、おばさまは、なにかおみやげを用意したでしょう」と、いおうとしてやめた。ジュディスのせきばらいが、それをさえぎつたのである。

一同は、急いで丘をおりた。でも、セラーズが、

「あしたもいら。しやいね」といたのは、よく聞こえていた。セラーズは、ホキータ家の小さな人たちの訪問に、お返しする翌日が、待ちきれなかつた。みんなが帰つてしまふと、すぐに、本を一かかえほど集めて、ボインといっしょに出かけた。その中には、テリーが特別喜びそうなものが選ばれてあつた。(つづく)

○気候がよくなると、戸外は幼児の最も良い遊び場である。新鮮な空氣と、明るい日光を浴びよう。七月号は、幼児と戸外生活を考えて編集した。夏に向うに

従つて、子供の戸外遊びには、保健衛生上考慮すべきことも少くないが、夏ならでは味い得ない夏の自然の喜びと楽しみを出来るだけ子供達に経験させたいものである。幼ない時に自然の事物から感得した心は、成長した後にも豊かに思い出され

よう。小さい頃の樂しい思い出は、私達に豊かな心の源を提供す

### 編 集 後 記

なく、小さい頃の経験もないが、本研究の中間報告は、本年度の日本保育学会において報告され、更に本

して、かい、こき易くもあり、又、の対、敏感である。豊かにふますこと、出来るし、ひねくれていじけさすこと、出来る。子供の豊かにしよう。子供の周囲を豊かに

よう。温たかい心で満し、美しく健かな自然の中で育てよう。時には剛健

### 幼児の教育 第五三巻 第七号

定価金五十円

昭和二十九年六月二十五日印刷

昭和二十九年七月一日発行

会は、日本保育学会の大規模な研究の一部をめぐるものである。研究首班である

山下俊郎先生及び諸先生方、並びに極めて手数のかゝる面接という仕事に携さわれた学生諸氏の貴重な

御感想は、誠に興味深

東京都文京区千光前町一〇  
編集兼 倉 橋 物 三  
発行所 東京都文京区大塚町三十五  
お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町二ノ五  
発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

○前月号松原至大先生訳『この子供たち』(16)は(10)が正。同四七頁七行目、  
「私たちを」の次は「こうして」が正。

○本誌御購読についての御注文は発売所  
フレーベル館にお願い致します。